

鍋山貞親関係文書目録

2023年8月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」
(<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/jp/index.html/>)

凡例

- 作成者が補った箇所は、〔 〕を付した。
- タイトルにおける「…」は一部省略したことを意味する。
- 第1次受入分書簡の部は基本的に、差出人の五十音（欧文表記はアルファベット順）に配列し、書類の部は各項目ごとの年代順に、刊行物の部は記事や刊行物の年代順に配列した。年代不明のものは末尾に配列した。
- 記述法欄においては、活字の体裁を取っていれば、活版としたものがある。

第2次受入分【資料番号1001～1015】の目録は藤枝賢治氏に、第3次受入分【資料番号2001～2006】の目録は太田聡一郎氏（東京大学大学院人文社会系研究科学生）にそれぞれ依頼して作成した。

鍋山貞親関係文書

- 第1次受入分
 - I 書簡の部【資料番号1～63】
 - II 書類の部
 - 1 ノート【資料番号64～70】
 - 2 手帳【資料番号71～75】
 - 3 メモ帳【資料番号76～103】
 - 4 覚書・参考書類他【資料番号104～492】
 - 5 英文資料【資料番号493～518】
 - III 刊行物の部
 - 1 記事【資料番号519～804】
 - 2 スクラップブック【資料番号805～817】
- 第2次受入分【資料番号1001～1015】
- 第3次受入分【資料番号2001～2006】

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
第1次受入分					
I 書簡の部【資料番号1～63】					
1	朝倉敬書簡	朝倉敬	鍋山貞親	昭和46年12月	数量 1枚 記述法 活版 備考 喪中葉書
2	アジア人民反共連盟中華民国総会書簡	アジア人民反共連盟中華民国総会	鍋山貞親	昭和29年	数量 3枚 記述法 活版
3	石井政一書簡	石井政一	鍋山貞親	昭和46年12月	数量 1枚 記述法 活版 備考 喪中葉書
4	石田協三書簡	石田協三	鍋山貞親	昭和53年12月5日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
5	臼井勝美書簡	臼井勝美	鍋山貞親	昭和43年3月	数量 1枚 記述法 ペン 備考 ポストン発 葉書
6	大蔵公望書簡	大蔵公望	西村知己	7月1日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 鍋山貞親君携帯
7	風間丈吉書簡【ほか一括】				
7-1	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和42年6月15日	数量 4枚 記述法 ペン
7-2	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和42年8月2日	数量 3枚 記述法 ペン
7-3	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和42年8月13日	数量 6枚 記述法 ペン
8	風間静書簡	風間静	鍋山貞親	昭和43年6月23日	数量 2枚 記述法 ペン
9	堅山利忠書簡	堅山利忠	鍋山歌子	昭和50年2月16日	数量 1枚 記述法 ペン
10	川村三十四書簡	川村三十四	鍋山貞親	昭和24年8月30日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
11	喜多広一郎書簡【ほか一括】				

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
11-1	喜多広一郎書簡	喜多広一郎	鍋山貞親	昭和34年9月28日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 シンガポール発 葉書
11-2	喜多広一郎書簡	喜多広一郎	鍋山貞親	9月24日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 シンガポール発 葉書
12	木村信友書簡	木村信友	鍋山貞親	昭和37年9月12日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
13	金思牧書簡 【ほか一括】				
13-1	金思牧書簡	金思牧	鍋山貞親	昭和42年11月13日	数量 2枚 記述法 ペン
13-2	金思牧書簡	金思牧	鍋山貞親	昭和43年2月8日	数量 4枚 記述法 カーボン
13-3	金思牧書簡	金思牧	斎木勉	昭和43年2月8日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 もと13-2に同封(付) 斎木勉書簡 金思牧宛 2枚
13-4	金思牧書簡	金思牧	鍋山貞親	昭和51年3月30日	数量 1枚 記述法 墨書
14	小林良志書簡	小林良志	鍋山貞親	昭和37年3月8日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
15	帰朝報告	S. 駒村	ジェトロ東京 本部長村副理事長	昭和35年9月9日	数量 8枚 記述法 タイプ、カーボン 備考 「紐育S.駒村」の記載あり。もと 62-1に同封
16	崔智元書簡	崔智元	鍋山貞親	昭和43年6月8日	数量 2枚 記述法 ペン
17	〔欠番〕				
18	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	12月18日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 葉書
19	沢田博英書簡	沢田博英	鍋山貞親	昭和34年9月3日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
20	重岡勢書簡	重岡勢	鍋山貞親	昭和24年9月16日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
21	自由人権委員会案内状	自由人権委員会	鍋山貞親	昭和53年6月2日	数量 2枚 記述法 活版、謄写
22	資料社書簡	資料社	鍋山貞親	昭和24年9月13日	数量 1枚 記述法 活版 備考 葉書
23	進藤竹次郎書簡	進藤竹次郎	鍋山貞親	昭和26年5月28日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
24	鈴木英二書簡	鈴木英二	鍋山貞親	3月16日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
25	鱸平亮書簡	鱸平亮	鍋山貞親	昭和24年9月28日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 宮本則勝名刺入り
26	住田久弥書簡	住田久弥	鍋山歌子	昭和24年5月26日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
27	全気象労働組合書簡	全気象労働組合	鍋山貞親	9月7日	数量 1枚 記述法 活版 備考 往復葉書
28	宋越倫・洪霞慶書簡	宋越倫・洪霞慶	鍋山貞親	昭和46年12月14日	数量 1点 記述法 活版 備考 クリスマスカード
29	高田保書簡	高田保	鍋山貞親	昭和22年3月12日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
30	張明芳書簡【ほか一括】				
30-1	張明芳書簡	張明芳	鍋山貞親	12月6日	数量 1枚 記述法 活版 備考 クリスマスカード
30-2	張明芳書簡	張明芳	鍋山貞親	12月15日	数量 1枚 記述法 活版 備考 クリスマスカード
31	張伯謹・張耿淑書簡	張伯謹・張耿淑	鍋山貞親・歌子	昭和42年4月22日	数量 1枚 記述法 活版 備考 クリスマスカード

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
32	張季飛書簡	張季飛	鍋山貞親夫妻	昭和47年12月22日	数量 1点 記述法 活版、ペン 備考 クリスマスカード
33	陳鵬仁書簡	陳鵬仁	鍋山貞親	昭和42年1月10日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 ニューヨーク発 葉書
34	辻寛一書簡【ほか一括】				
34-1	辻寛一書簡	辻寛一	鍋山貞親	昭和42年11月22日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
34-2	辻寛一書簡	辻寛一	鍋山貞親	昭和43年1月23日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
34-3	辻寛一書簡	辻寛一	鍋山貞親	昭和43年2月2日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
35	戸松信康書簡	戸松信康	鍋山貞親	9月20日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 大東出版社の編集者の葉書
36	内藤誉書簡	内藤誉	鍋山貞親	昭和28年4月21日	数量 3枚 記述法 ペン
37	日本毛織加印工場労働組合書記局書簡	日本毛織加印工場労働組合	鍋山貞親	昭和24年9月1日	数量 1枚 記述法 活版 備考 ニュース第16号
38	日本労働研究所書簡	日本労働研究所	鍋山貞親	昭和24年9月9日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
39	林正夫書簡	林正夫	鍋山貞親	昭和24年9月17日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
40	苗剣秋書簡【ほか一括】				
40-1	苗剣秋書簡	苗剣秋	鍋山貞親・歌子	昭和37年7月3日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 西尾末広への批判あり
40-2	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山貞親・歌子	昭和48年12月23日	数量 7枚 記述法 墨書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
40-3	周岐鳳・苗剣秋書簡	周岐鳳・苗剣秋	鍋山貞親・歌子	昭和51年7月22日	数量 6枚 記述法 墨書 備考 封筒なし
40-4	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和54年11月18日	数量 5枚 記述法 墨書 備考 封筒なし
40-5	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和54年12月8日	数量 4枚 記述法 墨書 備考 「一高の皆さんへ」同封
40-6	苗剣秋書簡	苗剣秋	鍋山歌子	昭和55年11月1日	数量 9枚 記述法 墨書
40-7	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和55年7月11日	数量 6枚 記述法 墨書 備考 封筒なし
40-8	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和56年2月11日	数量 9枚 記述法 墨書
40-9	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和56年5月29日	数量 8枚 記述法 墨書
40-10	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和56年8月31日	数量 5枚 記述法 ペン
40-11	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和58年8月31日	数量 6枚 記述法 墨書 備考 もと40-10に同封
40-12	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和58年9月13日	数量 5枚 記述法 墨書 備考 封筒なし
40-13	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和59年2月14日	数量 5枚 記述法 墨書
40-14	苗剣秋書簡	苗剣秋	鍋山歌子	昭和60年1月27日	数量 2枚 記述法 墨書
40-15	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年2月11日	数量 2枚 記述法 墨書
40-16	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年2月12日	数量 2枚 記述法 墨書
40-17	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年5月19日	数量 5枚 記述法 墨書
40-18	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年8月2日	数量 4枚 記述法 墨書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
40-19	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年9月14日	数量 4枚 記述法 墨書
40-20	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	昭和60年1月1日	数量 5枚 記述法 墨書
40-21	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子		数量 3枚 記述法 墨書
40-22	苗剣秋・周岐鳳書簡	苗剣秋・周岐鳳	鍋山歌子	16日	数量 5枚 記述法 墨書
41	藤原英夫書簡	藤原英夫	鍋山貞親	昭和24年7月19日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
42	布施辰治書簡	布施辰治	鍋山貞親	3月6日	数量 3枚 記述法 ペン
43	古井喜美書簡	古井喜美	鍋山貞親	昭和36年8月20日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
44	細川隆一郎書簡	細川隆一郎	鍋山貞親	昭和53年11月11日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 葉書
45	堀貞一書簡	堀貞一	鍋山貞親	昭和24年10月3日	数量 2枚 記述法 ペン、カーボン 備考 日本毛織加印工場労組書記長の書簡
46	松井憲二書簡	松井憲二	鍋山貞親	昭和23年7月16日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 速達
47	松井正清書簡	松井正清	鍋山貞親	昭和27年7月29日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
48	宮本則勝書簡	宮本則勝	鱸平亮	昭和24年9月20日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 もと25に同封
49	三輪壽壯書簡	三輪壽壯	大野信三	昭和28年1月15日	数量 11枚 記述法 ペン
50	安井重太郎書簡	安井重太郎	鍋山歌子	昭和24年9月20日	数量 1枚 記述法 ペン
51	安岡正篤書簡	安岡正篤	鍋山貞親	昭和46年7月7日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
52	矢部貞治書簡 【ほか一括】				
52-1	矢部貞治書簡	矢部貞治	鍋山貞親	昭和28年4月5日	数量 1枚 記述法 墨書
52-2	矢部貞治書簡	矢部貞治	鍋山貞親	4月7日	数量 2枚 記述法 墨書
52-3	矢部貞治書簡	矢部貞治	鍋山貞親	4月16日	数量 1枚 記述法 墨書
52-4	矢部貞治書簡	矢部貞治	草野文男	11月7日	数量 1枚 記述法 墨書
53	山名書簡	山名	鍋山貞親	昭和29年6月17日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
54	山本浅吾書簡	山本浅吾	鍋山貞親	10月12日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 ロンドン発 葉書
55	横尾直樹書簡	横尾直樹	鍋山貞親・代 野博光	8月26日	数量 2枚 記述法 ペン
56	羅啓源・羅鄭淑書簡	羅啓源・羅鄭淑	鍋山貞親	昭和46年11月24日	数量 1枚 記述法 活版 備考 年賀状
57	早稲田大学安全保障問題研究会中華民国訪問団書簡	早稲田大学安全保障問題研究会中華民国訪問団	鍋山貞親	昭和48年4月13日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
58	返信用葉書		是永明子		数量 1枚 記述法 白紙 備考 葉書
59	米国の査証を受けるための手びき				数量 1枚 記述法 活版
60	エクスチェンジ・ビジター				数量 1枚 記述法 活版
61	Paul Langer書簡	Paul Langer	鍋山貞親	昭和25年5月9日	数量 2枚 記述法 タイプ 備考 加藤、徳田、田中について
62	Robert J. Boylan書簡【ほか一括】				

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
62-1	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年10月18日	数量 1枚 記述法 タイプ 備考 Boylan は在日米国大使館人物交流部長
62-2	ロバート・J・ボイラン書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年10月18日	数量 1枚 記述法 タイプ 備考 "invitation to the United States"の日本語訳
62-3	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年10月26日	数量 2枚 記述法 タイプ
62-4	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年10月26日	数量 2枚 記述法 カーボン 備考 62-3の控え
62-5	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年10月26日	数量 2枚 記述法 タイプ 備考 62-4の日本語訳
62-6	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年12月21日	数量 2枚 記述法 タイプ
62-7	Robert J. Boylan 書簡	Robert J. Boylan	鍋山貞親	昭和35年12月21日	数量 2枚 記述法 カーボン 備考 62-6の控え
63	Rodger Swearingen 書簡	Rodger Swearingen	鍋山貞親	昭和25年5月9日	数量 2枚 記述法 タイプ 備考 偽名の共産党員について
II 書類の部					
1 ノート【資料番号64~70】					
64	Note Book			昭和23年10月4日~10月9日	数量 1冊 記述法 ペン 備考 「四国地方講習会」講義要綱
65	Note Book			昭和25年	数量 1冊 記述法 ペン 備考 「民主的労働組合ノ在リ方ト新方向」
66	Note Book				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「10月7日」
67	Note Book				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「産業防衛」(27年4月8日九州炭鉱講座)

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
68	Note Book				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「当部会ノ研究態度ニ就テ」
69	Note Book				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「第一回四月〇日」
70	バインダー式ノート				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「思想基盤の動揺」
2 手帳【資料番号71～75】					
71	手帳 (1956)			昭和31年	数量 1冊 記述法 ペン 備考 「小選挙区問題」
72	手帳 (1959)			昭和34年	数量 1冊 記述法 ペン 備考 「中立」 (34.1.20外ム省大学)
73	手帳 (1963)			昭和38年	数量 1冊 記述法 ペン 備考 「夢である。アメリカのある大きな原子力発電所を見学した」
74	バインダー式手帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「ソ連近状平和攻勢」(28.4.21新聞)
75	手帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「チエコ情勢」
3 メモ帳【資料番号76～103】					
76	社会主義・共産主義関係メモ帳			昭和20年代	数量 1冊 記述法 ペン
77	メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「民主化の両意味」
78	メモ帳 (協和銀行)				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「昭49年7月参院選」

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
79	メモ帳（協和銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「周キ会談」
80	メモ帳（第一勧業銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産党の進出とは」
81	メモ帳（第一勧業銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「近鉄講座51年8月」
82	メモ帳（第一勧業銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「スト権問題」
83	メモ帳（協和）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「世界史の曲角」
84	メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「円山大飯店」
85	メモ帳（大信）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産主義勢力の両極」
86	メモ帳（大信）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「台湾の外国企業」
87	メモ帳（渋谷信用金庫）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「東京都知事選」
88	メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産党第12大会」
89	バインダー式メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「労働情報改訂」
90	メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「キ〔ヤ〕ンプデービット」
91	メモ帳				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「マクロ好況ミクロ不況説広がる」

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
92	メモ帳（協和銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「丁一権挨拶より」
93	メモ帳（第一勧業銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産党に対する認識」
94	メモ帳（第一勧業銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「近鉄講座49年8月末」
95	メモ帳（協和銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産主義とは何か」
96	メモ帳（協和銀行）				数量 1冊 記述法 ペン 備考 「共産主義と自由の問題」
97	メモ類・新聞切抜き				数量 14点 記述法 ペン 備考 労働関係のもの
98	メモ類				数量 22種 記述法 ペン
99	メモ類				数量 11種 記述法 ペン
100	メモ類				数量 11種 記述法 ペン
101	メモ類				数量 29種 記述法 ペン
102	メモ				数量 1枚 記述法 ペン
103	メモ帳				数量 1綴 記述法 ペン
4 覚書・参考書類 他【資料番号104 ～492】					
104	東京地方裁判所第二刑事部予審尋問調書謄本 5ノ4：徳田球一外36名治安維持法違反被告事件	大越謄写館		昭和5年6月20日	数量 247～556頁（袋綴じ） 記述法 謄写 備考 鍋山貞親の調書は、複数回、収録されている。

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
105	転向声明書	鍋山貞親、佐野学、高橋貞樹、三田村四郎、中尾勝男他		昭和8年	数量 1綴 (4通) 記述法 謄写
106	わが国労働運動への提言	鍋山貞親氏述、土曜会		昭和23年1月31日	数量 1綴 記述法 謄写
107	戦後労働運動の戦術批判―鍋山貞親氏をかこむ座談会記録―	全鉱本部		昭和24年4月20日	数量 1綴 記述法 謄写
108	繊維産業を組織せよ(「党活動指針…」の中 No.12)	日本共産党中央委員会宣伝教育部		昭和24年5月14日	数量 1冊 記述法 謄写 備考 表紙に「極秘」の赤ゴム印あり
109	再建日本の思想問題 鍋山貞親先生講話速記録			昭和24年5月30日～6月1日	数量 1綴 記述法 ペン 備考 於大阪市警察学校
110	第4回繊維全国オールド会議要旨			昭和24年8月1～2日	数量 1冊 記述法 謄写 備考 表紙に「極秘」の赤ゴム印あり
111	全繊維代表者会議	関東地方委会		昭和24年9月26日	数量 1枚 記述法 カーボン 備考 「日共資料 取扱注意」
112	全繊維中央指導部会議	関東地方委員会		昭和24年9月7日	記述法 カーボン 備考 「取扱注意 日共資料」
113	党再建に関する意見書(案)	片山哲		昭和25年12月	数量 2枚 記述法 カーボン
114	国連管理下日本自衛義勇軍之提唱	瀧沢操六著・刊		昭和25年7月7日	数量 1冊 記述法 謄写
115	第2輯 労働組合に関する調査資料	労働省婦人少年局		〔昭和25年〕	数量 1冊 記述法 謄写
116	〔講演メモ類〕			昭和26年	数量 74枚 記述法 ペン 備考 「労働ノ傾向ト問題点 川崎」他
117	金融			昭和27年4月15日	数量 2枚 記述法 ペン
118	労働 4.12 4.18 スト			昭和27年4月22日	数量 5枚 記述法 ペン 備考 内藤

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
119	総選挙後の労組	川崎		昭和27年10月14日	数量 4枚 記述法 ペン
120	綱領運動方針案	日本労働組合総評議会 尼崎地方評議会		昭和27年10月16日	数量 3枚 記述法 謄写
121	ソ連共産党大会(19)			昭和27年10月21日	数量 4枚 記述法 ペン
122	答申書〔池田池秀警視(碑文谷署員宛)〕	鍋山貞親		昭和27年10月22日	数量 4枚 記述法 手書きカーボン・コピー
123	「総評指導方針批判―民主的労働組合の立場にたつて―」	全国繊維産業労働組合同盟 他		昭和27年12月26日	数量 1枚 記述法 活版
124	今後の労運	ミツワ油脂		昭和27年4月17日	数量 3枚 記述法 ペン
125	無題	矢部		昭和28年10月6日	数量 3枚 記述法 ペン
126	秋季闘争	川崎		昭和28年10月13日	数量 4枚 記述法 ペン
127	貿易現状			昭和28年11月10日	数量 5枚 記述法 ペン
128	日韓関係	三谷(外務)		昭和28年11月17日	数量 6枚 記述法 ペン
129	中間綱領			昭和28年11月下旬	数量 2枚 記述法 ペン
130	警察大学			昭和28年12月10日	数量 4枚 記述法 ペン
131	秋季・年末攻勢	内藤		昭和28年12月8日	数量 3枚 記述法 ペン
132	ス〔ターリン〕死後			昭和28年3月10日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 座談会
133	東独暴動	新関		昭和28年6月30日	数量 3枚 記述法 ペン
134	夏季国防講座			昭和28年7月17日	数量 2枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
135	MSAと日本の将来(資料1)	総同盟岡山県連合会書記局		昭和28年7月23日	数量 1冊 記述法 謄写 備考 鍋山貞親・中村哲の講演記録
136	車輛工業協会・労働白書より			昭和28年版	数量 2枚 記述法 ペン
137	中小企業			昭和29年10月12日	数量 4枚 記述法 ペン
138	ソ連(九国会議と改)	根本		昭和29年10月20日	数量 2枚 記述法 ペン
139	階級政党の発展と批判	渋川		昭和29年10月30日	数量 2枚 記述法 ペン
140	室蘭日鋼	室沢		昭和29年11月16日	数量 5枚 記述法 鉛筆
141	労組	川崎		昭和29年12月21日	数量 4枚 記述法 ペン
142	共産党の戦術			昭和29年12月5日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 九州経済クラブ
143	三井争議の経緯			昭和29年1月19日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 「三井平岡」
144	昨年度経連の闘争主義より協調主義…			昭和29年1月29日	数量 4枚 記述法 ペン
145	欧州近況	重枝		昭和29年2月16日	数量 2枚 記述法 ペン
146	春季斗争について	昭和同人会		昭和29年2月22日	数量 2枚 記述法 ペン
147	欧から見たソ連			昭和29年2月23日	数量 8枚 記述法 ペン 備考 「外△戸倉」
148	春季闘争をめぐる諸問題			昭和29年2月25日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 織労連
149	警察大学(署長講習)			昭和29年2月27日	数量 7枚 記述法 ペン
150	現代経済社会の基本問題—第二民主革命—	大賀		昭和29年3月2日	数量 7枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
151	政界腐敗の過剰関 心			昭和29年3月2 日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 化繊協会
152	憲法改正問題点			昭和29年3月9 日	数量 6枚 記述法 ペン
153	金融事情と日本経 済	紅林		昭和29年4月2 7日	数量 3枚 記述法 ペン
154	経済近況と見透			昭和29年4月6 日	数量 2枚 記述法 ペン
155	富山			昭和29年5月初 め	数量 5枚 記述法 ペン
156	議会政治と国会の 在り方			昭和29年6月2 2日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 矢部
157	総評大会前夜の状 況	川崎		昭和29年6月2 9日	数量 4枚 記述法 ペン
158	デフレ手直し(限 界と動向)	大野		昭和29年7月2 0日	数量 6枚 記述法 ペン
159	アメリカ上院ノウ ランド議員発言の 共産主義世界革命 に関する毛沢東の 覚書			昭和29年8月1 日	数量 1冊 記述法 謄写
160	最近のソ連生活	渡辺善一郎		昭和30年	数量 2枚 記述法 ペン
161	1、創立前後… (日本共産党)			昭和30年5月1 7日	数量 8枚 記述法 ペン 備考 自衛隊学校
162	日本国会議員団と ブルガーニン首 相・フルシチョフ 第一書記との会談	外務省欧亜局 第六課		昭和30年10月	数量 1冊 記述法 謄写 備考 「欧六資料」
163	資本主義とは何ぞ や	大野		昭和30年10月 25日	数量 11枚 記述法 ペン
164	日ソ交渉	法眼課長		昭和30年11月 1日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 講演要旨
165	労組年末闘争	川崎		昭和30年12月 7日	数量 6枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
166	内外経済の展望			昭和30年1月18日	数量 7枚 記述法 ペン 備考 「大望」
167	オースタリとソ連	根本（第六課長）		昭和30年4月26日	数量 2枚 記述法 ペン
168	日共活動現況			昭和30年5月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 倉敷講座
169	予算	大野		昭和30年5月17日	数量 5枚 記述法 ペン
170	香港から	新井(毎日)		昭和30年5月24日	数量 2枚 記述法 ペン
171	日共現状	若杉		昭和30年5月31日	数量 4枚 記述法 ペン
172	労運近況	川崎		昭和30年6月21日	数量 3枚 記述法 ペン
173	中立政策・中央図に就て	高山		昭和30年6月28日	数量 5枚 記述法 ペン
174	日共近状			昭和30年7月26日	数量 2枚 記述法 ペン
175	例会30.7 共産戦術の特色とソ連外交政策			〔昭和30年7月〕	数量 11枚 記述法 ペン
176	ソ連的平和共存	矢部		昭和30年9月4日	数量 4枚 記述法 ペン
177	1、共産党と青年…			昭和31年2月24日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 防衛庁講座
178	1、歴史的にみた日共			昭和31年9月24日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 伊東（日産講座）
179	自衛隊			昭和31年10月13日	数量 3枚 記述法 ペン
180	保守党瓦解			昭和31年10月8、9日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 大阪
181	銀行協会			昭和31年11月9日	数量 4枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
182	労働事情	山崎課長		昭和31年1月31日	数量 6枚 記述法 ペン
183	心理戦	高山		昭和31年2月14日	数量 7枚 記述法 ペン
184	日本経済見透	後藤誉之助		昭和31年2月21日	数量 6枚 記述法 ペン
185	日経連タイムス第392号			昭和31年2月23日	数量 1部 記述法 活版
186	欧州近状	法眼		昭和31年2月7日	数量 3枚 記述法 ペン
187	共産主義の現段階			昭和31年6月13日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 自衛隊武器学校
188	日ソ交渉と外国			昭和31年7月	数量 4枚 記述法 ペン
189	参院選挙と社党躍進			昭和31年8月	数量 10枚 記述法 ペン
190	日本における社会主義の性格(日経連)			昭和31年夏	数量 8枚 記述法 ペン
191	与論資料第30号 社会党及び共産党の動向 鍋山貞親講演速記	銀行懇話会		昭和31年9月	数量 19枚 記述法 謄写
192	九州各地			昭和32年10月	数量 4枚 記述法 ペン 備考 経済クラブ
193	モスクワ二つの宣言			昭和32年12月11日	数量 4枚 記述法 ペン
194	防衛研修			昭和32年2月28日	数量 10枚 記述法 ペン
195	四国各地経済クラブ			昭和32年3月下旬	数量 3枚 記述法 ペン 備考 「極東研」
196	中共と社会党			昭和32年5月13日	数量 5枚 記述法 ペン 備考 極東事情研究会

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
197	1、春季闘争…			昭和32年5月20日～26日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 経済クラブ 中国筋
198	選挙の結果			〔昭和33年5月〕	数量 2枚 記述法 ペン
199	自衛隊講義			昭和32年6月2日	数量 9枚 記述法 ペン
200	関経協関係			昭和32年6月中旬	数量 3枚 記述法 ペン
201	日清紡講座			昭和32年9月28日	数量 5枚 記述法 ペン
202	国際関係			昭和33年2月	数量 7枚 記述法 ペン 備考 「名古屋－徳島」
203	北海道自衛隊 【ほか一括】				
203-1	北海道自衛隊			昭和33年3月10、11、12日	数量 8枚 記述法 ペン
203-2	「種田鉄馬」講演 会設立の件			昭和33年春	数量 1冊 記述法 活版
204	山陰・関西・中部 経済クラブ			昭和33年9月	数量 5枚 記述法 ペン
205	講義ノート			昭和33年9月5日	数量 6枚 記述法 ペン
206	共産主義理論と革命			昭和34年3月12日	数量 10枚 記述法 ペン 備考 防衛研修
207	本当の春闘			昭和34年5月	数量 8枚 記述法 ペン 備考 「経クラブ」
208	右翼と暴力			昭和35年10月14日	数量 11枚 記述法 ペン 備考 L.F.
209	左翼の暴力			昭和35年10月20日	数量 11枚 記述法 ペン 備考 L.F.
210	岡山・広島・松山 (内外情勢)			昭和35年11月10日～11日	数量 6枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
211	結党大会議案書	民主社会党本部		昭和35年1月24日	数量 1冊 記述法 活版
212	日本共産党綱領・日本共産党規約	日本共産党中央委員会		昭和36年7月27日	数量 1冊 記述法 印刷
213	防研			昭和38年10月25日	数量 6枚 記述法 ペン
214	向坂理論と社会党			昭和39年2月2日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 極東研
215	ソ連の革命理論と平和共存			昭和40年10月22日	数量 6枚 記述法 ペン 備考 防研
216	佐藤内閣と中共			昭和40年1月3日	数量 10枚 記述法 ペン 備考 NTV
217	日本における革命の展望			昭和40年2月22日	数量 8枚 記述法 ペン 備考 防衛研修所。内閣用箋1枚含む
218	現在の日本は如何なる国か			昭和42年10月7日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 鯖江市青少年センター
219	今次参院選の結果と特長			昭和43年7月	数量 6枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。横浜、高崎、前橋
220	〔講演原稿類〕			昭和42年～昭和43年	数量 161枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。京都交通労組「佐藤一福田体制の安定度」他
221	解散含みの政局			昭和44年11月	数量 4枚 記述法 ペン
222	今回の選挙と過去十回の選挙			昭和44年12月	数量 4枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。松山、北九州
223	70年安保闘争について			昭和44年1月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 事務識字協会
224	延長国会と解散機運の遠去り			昭和44年6月6日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。浦和

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
225	異常長期国会(61国会)と内閣の奇妙な安定性			昭和44年7～8月	数量 5枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。長崎、佐世保、大津、奈良
226	政府及び自民党			昭和45年10月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。水戸、松山等
227	労働組合の日本の特質と今後の労使関係			昭和45年1月20日	数量 3枚 記述法 ペン 備考 NOMA講座
228	共産主義理論の限界			昭和45年5月8日	数量 5枚 記述法 ペン 備考 特別研究会用
229	政治の関心は主要知事選に集中			昭和46年4月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会
230	知事選その他の教訓			昭和46年4月13～14日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。宮崎、大分
231	野党再編成とは			昭和46年9月22日	数量 5枚 記述法 ペン 備考 研究会例会
232	田中内閣の出現			昭和47年8月	数量 4枚 記述法 ペン 備考 近鉄管理者講習会
233	田中内閣の庶民的人気			昭和47年8月	数量 4枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。小田原
234	政治当面の局勢・戦後未曾有の難局			昭和49年1月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。山口県下
235	政局当面の紛糾			昭和50年5月21～23日	数量 4枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。福山、岩国、徳山、府中
236	過ぐる総選挙による各党の消長			昭和52年1月	数量 3枚 記述法 ペン 備考 内外情勢調査会。鹿児島、宮崎等
237	ご挨拶	鍋山貞親		昭和53年5月初旬	数量 1枚 記述法 活版 備考 退院の挨拶状

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
238	摂食表	鍋山貞親		1月20日～4月2日	数量 5枚 記述法 ペン
239	共同特信A第14号 「特集 座談会 野坂批判を国民はどうみるべきか」			1月23日	数量 37枚 記述法 謄写
240	細谷氏除名の事情			2月15日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 『アカハタ』抜粋
241	〔講演速記原稿〕			2月	数量 88枚 記述法 鉛筆 備考 「これからの企業防衛について」
242	全繊維指導部会議	関東地方委員会		8月28日	数量 2枚 記述法 カーボン
243	全繊維会議の結論 【ほか一括】				
243-1	全繊維会議の結論	関東地方委員会		9月19日	数量 2枚 記述法 カーボン 備考 「日共資料 取扱注意」
243-2	鍋山貞親氏講演速記録（中央毛織本社にて）			9月27日	数量 1冊 記述法 謄写
244	アジア政策			10月6日	数量 10枚 記述法 ペン 備考 共同
245	米ノ講和論議ト予想サレル内容			10月10日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 「松井調査局長」
246	全繊維対策協議会の決定	関東地方委員会		10月9日	数量 2枚 記述法 カーボン
247	〔講演速記原稿〕			12月14日	数量 1綴 記述法 鉛筆 備考 世界経済研究所
248	〔公職追放関係〕 調査書				数量 1冊 記述法 印刷、ペン
249	社会党の岐路	鍋山貞親			数量 23枚 記述法 ペン
250	共産党の性格と戦略の解剖				数量 120枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
251	最近の両社会党と労働陣営の動向について	鍋山貞親			数量 109枚 記述法 ペン
252	労働関係の原稿・パンフレット・切抜き				数量 2綴+6枚+2冊 記述法 ペン、印刷 備考 「野田醤油講座」
253	中華民国訪問関係書類				数量 20枚 記述法 ペン、印刷
254	防衛庁・防衛研修所関係メモ類				数量 48種 記述法 ペン
255	覚書（社会党中執委えの申入(案)）	西尾末広・金正米吉・鍋山貞親（社会党中執委）			数量 2枚 記述法 カーボン 備考 「社会党中執委えの申入(案)」が見せ消ちになっている
256	声明草案				数量 3枚 記述法 カーボン 備考 朝鮮戦争期のもの
257	声明草案				数量 11枚 記述法 ペン 備考 朝鮮戦争期のもの
258	総評に対する非難を反駁する（新聞記事切抜）				数量 1枚 記述法 活版 備考 新聞名及び日付不明
259	回答(詳述)	鍋山貞親			数量 8枚 記述法 ペン 備考 ゲラ刷りとも
260	〔自伝の草稿〕	鍋山貞親			数量 100枚 記述法 ペン
261	『民主革命の推進』（日東出版社）草稿	鍋山貞親			数量 1組 記述法 ペン
262	鍋山貞親後援会関係資料	鍋山貞親後援会他			数量 4点 記述法 謄写、墨書 備考 封筒入り
263	デモクラシーの反省期				数量 1点 記述法 ペン
264	第5講 共産主義批判 テキスト	鍋山貞親			数量 1枚 記述法 謄写

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
265	民族の自衛と生活の安定について (講演会チラシ)	青年懇和会西 南支部			数量 1枚 記述法 印刷 備考 講師は鍋山貞親
266	共産主義の歴史的崩壊				数量 1点 記述法 ペン
267	宮本顕治論	鍋山貞親			数量 25枚 記述法 ペン
268	6月末政変〔ソ連〕				数量 3枚 記述法 ペン
269	大会史〔ソ連〕				数量 6枚 記述法 ペン
270	共産党の武力行動				数量 12枚 記述法 ペン
271	20大会の問題点				数量 3枚 記述法 ペン
272	20大会の印象と実態				数量 6枚 記述法 ペン
273	春季闘争の概要				数量 2枚 記述法 ペン
274	ソ共20大会				数量 4枚 記述法 ペン
275	社会主義の多様性				数量 3枚 記述法 ペン
276	共〔産党〕の近状				数量 1枚 記述法 ペン
277	民族的決意の年				数量 2枚 記述法 ペン
278	印度支那休戦を巡って				数量 4枚 記述法 ペン
279	マルクスの理論				数量 5枚 記述法 ペン
280	共〔産党〕の革命理論				数量 4枚 記述法 ペン
281	革命の意義				数量 5枚 記述法 ペン
282	自衛隊中央病院				数量 2枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
283	9回大会への注目				数量 3枚 記述法 ペン
284	共批判の角度				数量 1枚 記述法 ペン
285	徳田球一君!				数量 1枚 記述法 ペン
286	総選挙	矢部			数量 2枚 記述法 ペン
287	春闘講評の問題点				数量 2枚 記述法 ペン
288	春闘の問題点				数量 3枚 記述法 ペン
289	ソ20党大会の問題点				数量 5枚 記述法 ペン
290	日共最近の動向				数量 2枚 記述法 ペン
291	独立日本の物情騒然				数量 2枚 記述法 ペン
292	左〔派〕社〔会党〕の構成要素				数量 4枚 記述法 ペン
293	川崎労働講座				数量 4枚 記述法 ペン
294	労働運動の趨勢				数量 4枚 記述法 ペン
295	危機の遠退き				数量 2枚 記述法 ペン
296	小春日和的政局とその暗流				数量 2枚 記述法 ペン
297	吉田訪台				数量 9枚 記述法 ペン
298	国際情勢に関するメモ				数量 3枚 記述法 ペン 備考 インドその他
299	ソ連対日政策の三段階				数量 3枚 記述法 ペン
300	結社綱領	矢部			数量 3枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
301	共産主義				数量 5枚 記述法 ペン
302	職防問題の環境				数量 2枚 記述法 ペン
303	スターリンの死と 後続政権				数量 24枚 記述法 ペン
304	日共活動の二方面				数量 5枚 記述法 ペン
305	悩めるスターリン				数量 5枚 記述法 ペン
306	理論的不明確				数量 1枚 記述法 ペン
307	経済難局と政治不 信の拡大				数量 2枚 記述法 ペン
308	啓蒙の前提条件形 成				数量 1枚 記述法 ペン
309	この世界				数量 4枚 記述法 ペン
310	平和攻勢—平和共 存—				数量 3枚 記述法 ペン
311	党の陣容				数量 5枚 記述法 ペン 備考 冒頭欠
312	モスクワ政変四問 題				数量 3枚 記述法 ペン
313	日本経済と労 〔働〕運〔動〕				数量 3枚 記述法 ペン
314	日本をめぐる国際 関係				数量 4枚 記述法 ペン
315	労組の新傾向				数量 2枚 記述法 ペン
316	1954年の春季闘 争				数量 5枚 記述法 ペン
317	国策研労働関係				数量 3枚 記述法 ペン
318	人工衛星と人類				数量 5枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
319	人工衛星と冷戦の新展開				数量 2枚 記述法 ペン
320	マルクス主義一般				数量 10枚 記述法 ペン
321	日軽金				数量 1枚 記述法 ペン
322	共戦術の三段階				数量 1枚 記述法 ペン
323	ソ連政変の四問題				数量 5枚 記述法 ペン
324	経済闘争と労働協約				数量 2枚 記述法 ペン
325	仏印休戦				数量 1枚 記述法 ペン
326	中東紛争の教訓				数量 4枚 記述法 ペン
327	春攻勢の山崩れ				数量 4枚 記述法 ペン
328	伝えられる日共の計画				数量 3枚 記述法 ペン
329	日共近状	赤橋			数量 5枚 記述法 ペン
330	MSAノート				数量 6枚 記述法 ペン
331	MSA論議の問題点				数量 5枚 記述法 ペン
332	国際干渉				数量 2枚 記述法 ペン
333	シーズン闘争				数量 2枚 記述法 ペン
334	全織				数量 1枚 記述法 ペン
335	中間綱領の成立事情				数量 2枚 記述法 ペン
336	入社祝辞				数量 2枚 記述法 ペン 備考 含新聞切抜

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
337	日共の動向と職場 防衛				数量 2枚 記述法 ペン
338	労運と政治活動				数量 3枚 記述法 ペン
339	労組(特に総評)の 問題点				数量 5枚 記述法 ペン
340	総選挙の意義				数量 2枚 記述法 ペン
341	交渉過程				数量 8枚 記述法 ペン
342	台湾訪問				数量 3枚 記述法 ペン
343	国際共産勢力の傾 向				数量 9枚 記述法 ペン
344	第五班質問用紙				数量 1枚 記述法 ペン
345	平和攻勢の実態				数量 4枚 記述法 ペン
346	自民大学				数量 4枚 記述法 ペン
347	「再軍備」関係メ モ				数量 6枚 記述法 ペン
348	「再軍備」関係メ モ				数量 1枚 記述法 ペン 備考 日本放送協会用箋
349	「再軍備」関係放 送討論原稿				数量 7枚 記述法 ペン
350	総選挙と労組				数量 4枚 記述法 ペン
351	最近国際状勢				数量 3枚 記述法 ペン
352	主催者殿				数量 1枚 記述法 ペン
353	理論ニ必要ナ内的 統一ノ欠如				数量 1枚 記述法 ペン
354	対外関係				数量 2枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
355	企業における左翼勢力				数量 3枚 記述法 ペン
356	共産党と労組(原則)				数量 3枚 記述法 ペン
357	総論(共産主義論)				数量 3枚 記述法 ペン
358	共産陣営の内部分裂と理論的破綻の暴露				数量 9枚 記述法 ペン
359	革命の概念規定				数量 8枚 記述法 ペン
360	冷戦の新段階				数量 2枚 記述法 ペン
361	観念の類型化				数量 4枚 記述法 ペン
362	一つのやま				数量 3枚 記述法 ペン 備考 武田薬工労働組合用箋
363	高野論				数量 3枚 記述法 ペン
364	原稿断片				数量 1枚 記述法 ペン 備考 外務省用箋
365	政党と組合				数量 7枚 記述法 ペン 備考 日清紡労組
366	最近労組における容共性				数量 2枚 記述法 ペン
367	最近の労連				数量 6枚 記述法 ペン
368	総評批判				数量 3枚 記述法 ペン
369	今次の綱領論争と分裂				数量 6枚 記述法 ペン
370	内閣改造の問題点				数量 4枚 記述法 ペン
371	過去の事例の類似(日ソ関係)				数量 5枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
372	国際問題				数量 3枚 記述法 ペン
373	唯物史観				数量 12枚 記述法 ペン
374	受入れ側日本の問題点				数量 1冊 記述法 ペン
375	佐藤内閣と四八国会				数量 8枚 記述法 ペン
376	コンゴ問題				数量 11枚 記述法 ペン
377	金融共闘の概況				数量 13枚 記述法 ペン
378	中国油圧機器訪日視察団				数量 4枚 記述法 ペン
379	インドネシアの国連脱退				数量 3枚 記述法 ペン
380	学卒新入社 of 気持				数量 3枚 記述法 ペン
381	中ソの対立				数量 2枚 記述法 ペン
382	卒業から就職				数量 1枚 記述法 ペン
383	冷戦の現状				数量 2枚 記述法 ペン
384	政局と地方選挙				数量 5枚 記述法 ペン
385	参議院選挙				数量 4枚 記述法 ペン
386	ソ連の援助切られた中共の戦力・戦略				数量 2枚 記述法 ペン
387	米ソ接近の第二段階				数量 3枚 記述法 ペン
388	三選延長の佐藤四選				数量 4枚 記述法 ペン
389	自分と学校教育				数量 2枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
390	序論				数量 6枚 記述法 ペン
391	70年安保を前にしての緊迫				数量 4枚 記述法 ペン
392	個人の伝記				数量 9枚 記述法 ペン 備考 鍋山を含む
393	労組と思想				数量 2枚 記述法 ペン
394	第63特別国会の問題点				数量 5枚 記述法 ペン
395	政局当面の問題				数量 5枚 記述法 ペン
396	近代化の追及一二の手本				数量 2枚 記述法 ペン
397	1958年蔣・ダレス声明				数量 3枚 記述法 ペン
398	国際関係				数量 2枚 記述法 ペン
399	今次の総選挙の教訓				数量 2枚 記述法 ペン
400	原稿断片				数量 1枚 記述法 ペン
401	暴力革命の各種形態(メモ)				数量 13枚 記述法 ペン
402	政局一般				数量 1枚 記述法 ペン
403	三菱製紙学卒入社講習				数量 3枚 記述法 ペン
404	新保守主義の政治哲学				数量 6枚 記述法 ペン
405	労組と共産党の異質性				数量 2枚 記述法 ペン
406	脱イデオロギー時代				数量 3枚 記述法 ペン
407	田中の悲劇の意味するもの				数量 3枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
408	昨年中の過激派行動				数量 1枚 記述法 ペン
409	思想としての共産主義				数量 4枚 記述法 ペン
410	現象(外国の)				数量 5枚 記述法 ペン
411	70年問題に直面する政局				数量 4枚 記述法 ペン
412	参院選を控えた政権潮流				数量 3枚 記述法 ペン
413	ニクソンの訪中決定				数量 4枚 記述法 ペン
414	第二次田中内閣				数量 4枚 記述法 ペン
415	東京都議選の問題点				数量 3枚 記述法 ペン
416	政党とイデオロギー				数量 4枚 記述法 ペン
417	学生闘争				数量 2枚 記述法 ペン
418	田中内閣の人気低落と政局の混迷				数量 4枚 記述法 ペン
419	総選挙における共産党進出の客観条件				数量 5枚 記述法 ペン
420	昭46年中の過激派暴力事件				数量 2枚 記述法 ペン
421	赤軍派的青年の心情と思想				数量 4枚 記述法 ペン
422	日華協力委員会有志の声明				数量 7枚 記述法 ペン
423	原稿(日中関係)				数量 9枚 記述法 ペン
424	日中問題テーゼ	鍋山貞親			数量 9枚 記述法 ペン
425	労働運動の問題点				数量 3枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
426	共産党の新路線				数量 3枚 記述法 ペン
427	日米首脳会談で闇暮の今日政治				数量 3枚 記述法 ペン
428	当面の野党共闘				数量 4枚 記述法 ペン
429	政局は平穏				数量 2枚 記述法 ペン
430	日本の国際地位				数量 4枚 記述法 ペン
431	ドイツ経営参加問題				数量 1枚 記述法 ペン
432	インドシナ休戦				数量 2枚 記述法 ペン
433	中共対日工作進展の中共的事情				数量 3枚 記述法 ペン
434	労運現状				数量 2枚 記述法 ペン
435	台湾旅行の感想				数量 3枚 記述法 ペン
436	参院選挙の前提				数量 2枚 記述法 ペン
437	未曾有の政治危機				数量 5枚 記述法 ペン
438	ソ連平和攻勢の背景				数量 8枚 記述法 ペン 備考 冒頭1枚欠
439	戦後共〔産党〕の発展段階・その山				数量 6枚 記述法 ペン
440	公安調査庁出生の不評				数量 2枚 記述法 ペン
441	春季闘争の計画経過				数量 1枚 記述法 ペン 備考 新聞切抜き1枚共
442	労組の直面する政治環境				数量 3枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
443	自由中国訪日団歓迎挨拶原稿	鍋山貞親			数量 5枚 記述法 ペン
444	危機感各様				数量 4枚 記述法 ペン 備考 北海警友用箋
445	共産系軍事挑戦				数量 1枚 記述法 ペン 備考 羊毛会館用箋
446	メーデー暴動に見る				数量 2枚 記述法 ペン
447	冷戦一米ソ対立の各個撃破戦術一				数量 1枚 記述法 ペン
448	政党・地盤・選挙				数量 2枚 記述法 ペン
449	〔ソ連共産党〕19回大会の国際会議性				数量 各2枚 記述法 ペン、タイプ、カーボン 備考 カーボンコピーの1枚目は労働省用箋
450	共産系最近の軍事挑戦が意味するもの				数量 1枚 記述法 ペン
451	職防の発生事情				数量 2枚 記述法 ペン
452	政治に立つ決意				数量 3枚 記述法 ペン
453	国際社会主義運動ノ思想転換				数量 1枚 記述法 鉛筆
454	質問二項目	水尾一佐			数量 1枚 記述法 ペン 備考 陸上自衛隊用箋
455	共産主義の世界的動揺				数量 6枚 記述法 ペン
456	春闘の性格と見透				数量 3枚 記述法 ペン
457	日共第七大会迄				数量 4枚 記述法 ペン
458	日共の戦略				数量 4枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
459	〔妻について〕	鍋山貞親			数量 8枚 記述法 ペン
460	党内点検				数量 2枚 記述法 ペン
461	輸出入関係メモ				数量 1枚 記述法 ペン
462	ソ連の新手と日本の動揺	鍋山貞親			数量 10枚 記述法 ペン
463	日共近況				数量 3枚 記述法 ペン
464	民労連				数量 2枚 記述法 ペン
465	秋季攻勢				数量 2枚 記述法 ペン
466	二大政党対立				数量 2枚 記述法 ペン
467	序論・共産主義の性格				数量 1枚 記述法 ペン
468	労働運動の現状				数量 4枚 記述法 ペン
469	守勢から攻勢へ (昨年末)				数量 1枚 記述法 ペン
470	無題				数量 5枚 記述法 ペン 備考 内容は戦後世界の展望
471	無題				数量 4枚 記述法 ペン
472	無題				数量 3枚 記述法 ペン 備考 内容は共産党関係
473	無題				数量 5枚 記述法 ペン
474	無題				数量 2枚 記述法 ペン
475	無題				数量 2枚 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
476	無題				数量 4枚 記述法 ペン
477	朝鮮動乱ト労働組合				数量 15枚 記述法 ペン 備考 「研究会」
478	産業防衛について				数量 16枚 記述法 ペン
479	一般条件				数量 11枚 記述法 ペン 備考 「最近ノ政党混乱ノ一般条件」
480	1、思想ハ創始者ノ人格ヲ反映スル…				数量 9枚 記述法 ペン
481	1、マルクス主義の功罪…				数量 5枚 記述法 ペン 備考 日産講座
482	1、台湾見聞…				数量 2枚 記述法 ペン
483	1、台湾の労働組合…				数量 3枚 記述法 ペン
484	1、ソ中の対日政策…				数量 2枚 記述法 ペン
485	1、スターリン批判の意味				数量 2枚 記述法 ペン
486	1、台湾訪問…				数量 5枚 記述法 ペン
487	1、ソ連はどう変わったか…				数量 2枚 記述法 ペン
488	1、理論的独断…				数量 2枚 記述法 ペン 備考 組織論（健青会）
489	1、春季闘争…				数量 2枚 記述法 ペン
490	侵略主義化ノ怖…				数量 3枚 記述法 ペン
491	共産主義と民族の立場				数量 1綴 記述法 ペン

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
492	7日の鍋山貞親君の投書に対して一言する【ほか一括】				
492-1	7日の鍋山貞親君の投書に対して一言する				数量 27枚 記述法 ペン 備考 投稿原稿カ
492-2	絵葉書（姫の宮大祭記念）	尾張二の宮大 県神社社務所			数量 3枚（1組） 記述法 写真（印刷）
5 英文資料【資料番号493～518】					
493	Dumbarton Oaks Project of World Democracy	Tadeusz B. Spitzer		昭和20年4月	数量 15pp. 記述法 活版 備考 Repr. From The Dalhousie Review
494	International Certificate of Vaccination [Sadachika Nabeyama (鍋山貞親) 宛]	Nissan Clinic		昭和31年7月21日	数量 1冊 記述法 ペン
495	Communist Illusion and Democratic Reality	J. Edgar Hoover		昭和34年7月	数量 22pp. 記述法 活版 備考 “U.S. Dept. of Justice”
496	An Analysis of the 17th National Convention of the Communist Party, USA	J. Edgar Hoover		昭和35年3月	数量 7pp. 記述法 活版 備考 Repr. From The FBI Law Enforcement Bulletin
497	Satellite Empire: Achilles Heel? Robert Strausz-Hupé	Robert Strausz-Hupé		昭和35年7月30日	数量 [4] pp., Plus One Sheet 記述法 活版 備考 Repr. From The National Review
498	One Nation's Response to Communism	J. Edgar Hoover		昭和35年9月	数量 14pp. 記述法 活版
499	Bear and Dragon, What is the Relation Between Moscow and Peking?			昭和35年11月6日	数量 46pp. 記述法 活版 備考 Supplement to National Review

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
500	Facts on the Establishment of a Soviet Controlled Communist Regime in Bulgaria	ACEN		昭和35年11月11日	数量 6pp. 記述法 タイプ
501	Facts on the Soviet Conquest and Annexation of Lithuania	ACEN		昭和35年11月14日	数量 4pp. 記述法 タイプ
502	Facts on the Soviet Conquest and Annexation of Latvia	ACEN		昭和35年11月14日	数量 3pp. 記述法 タイプ
503	Facts on the Establishment of A Soviet Controlled Communist Regime in Romania	ACEN		昭和35年11月15日	数量 7pp. 記述法 タイプ
504	Facts on the Soviet Conquest and Annexation of Estonia	ACEN		昭和35年11月17日	数量 3pp. 記述法 タイプ
505	Facts on How Albania Became Part of the Soviet Empire	ACEN		昭和35年11月17日	数量 3pp. 記述法 タイプ
506	Facts on the Establishment of A Soviet Controlled Communist Regime in Poland	ACEN		昭和35年11月18日	数量 4pp. 記述法 タイプ
507	Facts on the Soviet Directed Seizure of Power by the Communists in Czechoslovakia	ACEN		昭和35年11月28日	数量 6pp. 記述法 タイプ
508	Japan Today: New Leader Section Two			昭和35年11月28日	数量 pp.36-42 記述法 活版 備考 "The Press" by Sadachika Nabeyama

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
509	Facts on the Establishment of A Soviet Controlled Communist Regime in Hungary	ACEN		昭和35年11月29日	数量 3pp. 記述法 タイプ
510	ACEN News, no. 69	Press Bureau of ACEN		昭和35年12月	数量 15pp. 記述法 活版
511	Biography...Sadachika Nabeyama	Governmental Affairs Institute		昭和36年1月	数量 1枚 記述法 タイプ
512	Hearing before Committee on Foreign Relations, United States Senate, 87th Congress, First Session on the Nomination of Dean Rusk, Secretary of State-Designate...January 12, 1961	U.S. Govt. Printing Office		昭和36年1月12日	数量 38pp. 記述法 活版
513	Hearing before the Committee on Foreign Relations, United States Senate, 87th Congress, First Session on the Nomination of Adlai E. Stevenson as United States Representative to the United Nations, January 18, 1961	U.S. Govt. Printing Office		昭和36年1月18日	数量 33pp. 記述法 活版

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
514	Hearing before the Committee on Foreign Relations, United States Senate, 87th Congress, First Session on the Nomination of Chester Bowles, under Secretary of State Designate ... January 19, 1961	U.S. Govt. Printing Office		昭和36年1月19日	数量 56pp. 記述法 活版
515	Itinerary for Mr. Sadachika Nabeyama	Govt. Affairs Institute		昭和36年2月	数量 5枚 記述法 タイプ 備考 同文2綴
516	International Certificates of Vaccination (Sadachika Nabeyama)	Chiyoda Clinic		昭和37年6月7日	数量 1冊 記述法 ペン、活版
517	Civil Air Transport (航空券入れ)				数量 1点 記述法 活版 備考 Civil Air Transportは台湾の航空会社
518	Will the Future Redeem the Past?	Charles Malik, former President of the United Nations General Assembly			数量 (8) pp. 記述法 活版

Ⅲ刊行物の部

1 記事【資料番号519～804】

519	国共内戦と日本の運命(『国際タイムス』第62号 [1面])	鍋山貞親		昭和21年11月1日	
520	日本現代政党論(『小冊子(民主策進懇話会発行)』第2回懇話 [35頁])	鍋山貞親		昭和22年1月	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
521	共産党の性格と戦略の解剖(『自由国民』第6号 [59～82頁])	鍋山貞親		昭和22年5月	
522	暴力革命か平和革命か(『日本週報』第55-56号 [10～19頁])	風間丈吉、鍋山貞親、松岡駒吉		昭和22年6月29日	
523	わが労働組合の危機(『経済新誌』第3巻1号 [11～13頁])	鍋山貞親		昭和22年12月20日	
524	労働戦線を再編成せよ(『日本週報』第97～98号 [4～8頁])	鍋山貞親		昭和23年10月15日	
525	『日本週報』第97～98号(全冊) (『日本週報』第97～98号 [全31頁])			昭和23年10月15日	備考 鍋山貞親「労働戦線を再編成せよ」を収録
526	対談・労働不安と社会不安(『日本週報』第128号 [24～31頁])	増田甲子七・鍋山貞親		昭和24年8月1日	
527	野党攻勢の大鯨 西尾・鍋山ライン (『政界ジープ』第4巻8号(37号) [20～22頁])	井谷清丸		昭和24年8月1日	
528	人物評論 反共の猛牛鍋山貞親 (『思索』第28号 [47～50頁])	自称芸者・自称赤十字		昭和24年11月1日	
529	対談・共産主義論争(『世界春秋』創刊号 [42～55頁])	神山茂夫・鍋山貞親		昭和24年12月1日	
530	反共陣営の黒幕・鍋山貞親とその周辺(『レポート』第4巻12号 [6～11頁])			昭和24年12月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
531	「民同太平記」 【附】星加要とい う人物(『週刊朝 日』第55巻3号 [3~9頁])			昭和25年1月1 5日	
532	青い鳥か赤い鳥か 社会党分裂の前景 と背景(『時事週 報』第3号[1~9 頁])	鍋山貞親		昭和25年2月1 0日	
533	座談会・政界の内 乱(『新週報』第 1巻1号[24~31 頁])	岩淵辰雄・鍋 山貞親・宮沢 俊義		昭和25年2月1 5日	備考 同文2点
534	スターリン大元帥 に呈す 巨大なる 手を平和へ! (『日本週報』第 144号[3~7 頁])	鍋山貞親		昭和25年3月1 5日	
535	民同派の戦線統一 と左右の対立 (『新経済』第10 巻4号[16~18 頁])	鍋山貞親		昭和25年4月1 日	
536	内外情勢と国内思 想問題について (『横浜消防』第 2巻5号[4~19 頁])	鍋山貞親		昭和25年5月5 日	
537	民同派の試練 (『交通労働』第 47号[2~6頁])	鍋山貞親		昭和25年5月5 日	
538	『自由人』第22 号(『『自由 人』』第22号 [全2面])			昭和25年5月5 日	
539	非合法化と今後の 問題一腑ぬけにな るか日本共産党一 (『サンデー毎 日』第29年26号 [32~36頁])	佐野博・三宅 正一・鍋山貞 親		昭和25年6月2 5日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
540	日共幹部追放の波紋—出版界その後に来るもの— (『出版ニュース』第131号 [1頁])	鍋山貞親		昭和25年7月1日	
541	昭和25年分所得税7月予定申告についての注意 ([全8頁])	国税庁国税局 税務署		昭和25年7月	
542	武力的自衛の組織を(『日本週報』第154号 [28~30頁])	鍋山貞親		昭和25年7月15日	
543	日本独立への条件 (『時事週報』第13号 [4~7頁])	鍋山貞親		昭和25年8月15日	
544	アジア動乱と日本共産党の動き (『学苑』第11巻10号 [40~42頁])	鍋山貞親		昭和25年10月1日	
545	日本の労働情勢の分析(『成人夏季大学講座資料(島根県教育庁文化課発行)』 [1~30頁]) 【ほか一括】				
545-1	日本の労働情勢の分析(『成人夏季大学講座資料(島根県教育庁文化課発行)』 [1~30頁])	鍋山貞親		昭和25年10月	
545-2	武装共産党の正体 (『昭和25年12月20日』活版)	鍋山貞親 [著]、京都新聞社[刊]		1冊	
546	対談・戦争か平和か革命か(『新経済』第11巻1号 [10~19頁])	尾形昭二・鍋山貞親		昭和25年12月25日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
547	総同盟分裂と戦線統一問題(『官業労働』第5巻2号 [13~16頁])	鍋山貞親		昭和26年2月1日	備考 抜刷2部あり
548	朝鮮の局勢と平和への努力(『危機の読本』月刊読売号外版 [42~44頁])	鍋山貞親		昭和26年2月5日	
549	渦巻く極東の風雲・日本はどうなるか(『キング』第27巻3号 [72~83頁])	曾野明・鍋山貞親・田村幸策		昭和26年3月1日	
550	日共の内部対立とその将来(『官業労働』第5巻5号 [12~13頁])	鍋山貞親		昭和26年5月1日	
551	座談会・対日講和に関連する国内の諸問題(下) (『〔世界民主研究所〕研究報告書』第63号 [18頁])	鍋山・大野・風間・西尾・矢部・草野		昭和26年6月13日	
552	米ソ対立の展望(『教育評論』第52号 [10~13頁])	鍋山貞親		昭和26年7月10日	
553	講和と占領下革命の現実的是正(『経済展望』第23巻8号 [18~20頁])	鍋山貞親		昭和26年8月3日	
554	朝鮮休戦とソ連的平和(『実業の世界』第48巻9号 [25~27頁])	鍋山貞親		昭和26年9月1日	
555	内憂外患一座談会一(『日本週報』第187号 [9~20頁])	岩淵辰雄・鍋山貞親・三田村武夫		昭和26年10月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
556	深刻な試練に立つ労働界の問題 (『経済展望』第24巻1号 [33~35頁])	鍋山貞親		昭和27年1月3日	
557	承服しがたき信念論—新しき出発のために—(『出版ニュース』第186号 [2~4頁])	鍋山貞親		昭和27年1月1日	備考 雑誌『世界』1月号の書評
558	パルチザン戦法を破砕せよ! 日共の武力組織計画の批判(『日本週報』第196号 [37~40頁])	鍋山貞親		昭和27年1月15日	
559	警察と共産主義 (『日本トリビューン』第146号 [1面])	鍋山貞親		昭和27年5月27日	
560	日共の戦略戦術を探る—メーデー暴動をサンプルとして—(『人物往来』第1巻6号 [11~18頁])	鍋山貞親		昭和27年7月1日	
561	日共武力革命を阻止するもの(『民主公論』第3巻7号 [8~13頁])	鍋山貞親		昭和27年7月10日	
562	再軍備はファッション化に非ず(『日本週報』第225号 [30~32頁])	鍋山貞親		昭和27年10月15日	備考 同文2点
563	共産党最近の動きと警察官の信念 (『みおつくし』第5巻11号 [10~29頁])	鍋山貞親		昭和27年11月	
564	職場防衛のあり方 (『兵庫経協』第10号 [23~27頁])	鍋山貞親		昭和28年1月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
565	再軍備問題をめぐって(『時局ダイジェスト』第5巻1号 [14~18頁])	鍋山貞親		昭和28年1月1日	
566	政界再編成はいかにあるべきか 再軍備問題を中心として(『政界往来』第19巻1号 [42~47頁])	鍋山貞親		昭和28年1月1日	
567	二度三度と暴れるか! 菩薩ヅラした夜叉の正体(『日本週報』第234号 [12~14頁])	鍋山貞親		昭和28年1月15日	
568	国家独立後の労使関係(『公安思潮』第16号 [1~5頁])	鍋山貞親		昭和28年1月31日	
569	特集 潜行『日共』を解剖する 鼎談(『全貌』第4号 [4~28頁])	鍋山貞親・三田村四郎・対島忠行		昭和28年2月	
570	潜行『日共』を解剖する・鼎談(『全貌』第2巻2号 [4~28頁])	鍋山貞親・三田村四郎・対島忠行		昭和28年2月5日	
571	反共問答(『労働文化』第4巻3号 [8~9頁])	鍋山貞親		昭和28年3月1日	
572	映画雑談(『国民評論』第211号 [9~73頁])	鍋山貞親		昭和28年3月1日	
573	左右の革命はあるか(『政界往来』第19巻3号 [24~25頁])	鍋山貞親		昭和28年3月1日	
574	北海道局地戦場化の懸念濃し(『日本週報』第241号 [4~8頁])	鍋山貞親		昭和28年3月25日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
575	六月事件—東ベルリン暴動の背景—(『毎日新聞(夕刊)』第27688号 [2面])	メルヴィン・ラスキー		昭和28年6月21日	
576	呆れた犬猫のアチラ風(『経済展望』第25巻7号 [98~100頁])	鍋山貞親		昭和28年7月3日	
577	試練に立つ自由日本の新路線—朝鮮休戦と日本の自衛—(『弁論』第62号 [19~21頁])	鍋山貞親		昭和28年9月1日	
578	総同盟の大会を見る(『新政』第1巻14号 [8~9頁])	鍋山貞親		昭和28年10月15日	
579	ソ連版“大政翼賛会”(『日本週報』第255号 [26~28頁])	鍋山貞親		昭和28年□月5日	
580	ヒカラビタ共産主義を後生大事に—幼稚なり左社の綱領草案—(『日本週報』第271号 [33~36頁])	鍋山貞親		昭和29年1月5日	
581	今年の春季闘争(『関西経協』第8巻2号 [2~5頁])	鍋山貞親		昭和29年2月1日	
582	反米総まくりその正体を究明する(『サンデー毎日』第33年7号 [3~11頁])	鍋山貞親		昭和29年2月7日	備考 同文2点
583	政治の腐敗と日本の革新(座談会)(『日本週報』第277号 [4~15頁])	岩淵辰雄・鍋山貞親・湯川洋蔵(司会)		昭和29年3月5日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
584	「反米総まくり」の反響集を読んで(『サンデー毎日』第33年13号(1807号)[80～81頁])	鍋山貞親		昭和29年3月14日	
585	失意の共産宗徒を憐む(『日本週報』第280号[17～23頁])	鍋山貞親		昭和29年3月25日	備考 同文2点
586	汚濁の母胎(『矯正教育』第5巻4号[11～14頁])	鍋山貞親		昭和29年4月	
587	電力事業の労務対策(『今後の日本経済と労使関係特集(電労連情報集)』第6号[23～28頁])	鍋山貞親		昭和29年4月15日	
588	『今後の日本経済と労使関係特集(電労連情報集)』第6号(全冊)(『今後の日本経済と労使関係特集(電労連情報集)』第6号[全55頁])			昭和29年4月15日	備考 鍋山貞親「電力事業の労務対策」を収録
589	地下潜行幹部の動向—松本三益氏無罪に関連して—(『北海道新聞』[2面])	鍋山貞親		昭和29年5月23日	
590	かけ足で見た台湾—全島あげての大反攻決意—(『日本週報』第292号[44～48頁])	鍋山貞親		昭和29年7月5日	
591	戦う台湾の外貌(『新政』第2巻19号[5～7頁])	鍋山貞親		昭和29年7月15日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
592	新日本軍の発足 (『神奈川公論』 第22号 [2~6 頁])	鍋山貞親		昭和29年8月1 5日	
593	失われざる信念 (二)(『護光』11 月号 [10~22 頁])	鍋山貞親		昭和29年11月 5日	
594	失われた政治 (『武田労連』第 19号 [1~4頁])	鍋山貞親		昭和29年11月	
595	えらく高価な講和 に—おゝッぴらに なる国内攪乱— (『時事新報』第 22508号 [3 面])	鍋山貞親		昭和29年12月 22日	
596	中ソの平和攻勢と 日本の立ち場 (『曙』第4巻1号 [4~11頁])	鍋山貞親		昭和30年1月1 日	
597	座談会・いわゆる “平和攻勢”の実 態(『経営者』第 9巻1号 [42~49 頁])	馬淵威雄・鍋 山貞親・橘善 守・堅山利忠 他		昭和30年1月1 日	
598	激動する新春政局 (『大阪新聞』第 4609号 [3面])	阿部真之助・ 矢部貞治・鍋 山貞親		昭和30年1月6 日	
599	モスクワ政変の問 題点(『日経連タ イムス』第341 号)	鍋山貞親		昭和30年2月1 7日	
600	最近の日本共産党 の動向 附その医 療問題における現 われ(『小冊子(福 岡結核懇話会発 行)』第75回臨時 懇話会要旨 [4~ 55頁])	鍋山貞親		昭和30年2月2 0日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
601	ソ連の誘惑一身を まかせ切れるか？ —(『日本週報』 第318号 [14～1 9頁])	鍋山貞親		昭和30年2月2 5日	
602	労働運動の基本問 題と日共理論の誤 謬(『小冊子(極東 事情研究会発 行)』労働講座シ リーズ第2集 [41 頁])	鍋山貞親		昭和30年4月	
603	パンフレット『わ れらの見解』第1 9集 総選挙戦の批 判と統一社会党の 在り方—鍋山貞 親・曾禰益対談— (『小冊子(時局 研究会発行)』 [全28頁])			昭和30年4月8 日	
604	共産党の最近戦術 と武田薬工労連 (『東雲』第1号 [3頁])	鍋山貞親		昭和30年5月1 日	
605	日ソ交渉に寄せて (『日本及日本 人』第6巻9号 [6 ～11頁])	鍋山貞親		昭和30年9月1 日	
606	“女郎の子”徳田球 —(『日本週報』 第349号 [14～1 7頁])	鍋山貞親		昭和30年12月 15日	
607	当面の政治と労働 の諸情勢について (『小冊子(長野県 経営者協会発 行)』 [47,12 頁])	鍋山貞親		昭和30年12月 16日	備考 11月21日の講演速記要旨
608	ソ連外交の性格 (『海外事情』第 4巻1号 [25～30 頁])	鍋山貞親		昭和31年1月5 日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
609	日共委員長・渡邊政之輔の自殺 (『特集文藝春秋：三大日本の謎』第3138号 [125～129頁])	鍋山貞親		昭和31年2月5日	
610	総評恒例の春季闘争(『自警』第38巻3号 [14～18頁])	鍋山貞親		昭和31年3月1日	
611	転換期に立つソ連—ソ連共産党第20回大会の3つの問題点—(『小冊子(福岡県経営者協会発行)』福経協資料第98号 [44頁])	鍋山貞親		昭和31年6月	
612	二大政党の共通の広場(『東京だより』第83号 [61～72頁])	鍋山貞親		昭和31年6月1日	
613	炭鉱の労使関係を衝く(『財界往来』第2巻6号 [56～59頁])	鍋山貞親		昭和31年6月1日	
614	日共に気を許すな!(『日本週報』第369号 [18～22頁])	鍋山貞親		昭和31年6月15日	
615	二大政党の共通の広場(『こえ』第2号 [1～26頁])	鍋山貞親		昭和31年8月10日	
616	日共の平和革命論(『自警』第38巻9号 [8～12頁])	鍋山貞親		昭和31年9月1日	
617	日共の平和革命論(『警声(香川県警察協会)』第35号 [15～19頁])	鍋山貞親		昭和31年9月	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
618	公然と“容共”へ (『東京だより』 第87号 [30~32 頁])	鍋山貞親		昭和31年10月 1日	
619	私は天皇制を支持 する(『文芸春秋 (特集 天皇白 書)』 [156 頁])	鍋山貞親		昭和31年10月 5日	
620	犬の去勢(『メジ カルモチダ』第1 巻2号 [27~28 頁])	鍋山貞親		昭和31年11月 1日	
621	日ソ復交で日本は 果して赤化するか (『実業之日本』 第59巻26号 [60 ~62頁])	鍋山貞親		昭和31年11月 15日	
622	座談会・動乱に立 ち向う治安(『日 本週報』第388号 [16~26頁])	牧野良三・鍋 山貞親・町村 金吾		昭和31年11月 25日	備考 同文2点
623	非合法下の共産党 中央委員会(『特 集文藝春秋：私は そこにいた・目撃 者の証言』第313 8号 [66~72 頁])	鍋山貞親		昭和31年12月 5日	
624	社会党は何処へゆ くか(『こえ』第 3号 [1~40頁])	鍋山貞親		昭和31年12月 10日	
625	ハンガリヤの悲劇 とわが進歩的文化 人(『全貌』第5 巻13号 [24~25 頁])	鍋山貞親		昭和31年12月 15日	
626	市政に無知なる者 の言(『市政』第 6巻1号 [41~45 頁])	鍋山貞親		昭和32年1月	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
627	ユーモア徳田球一論(『特集 人物往来 反逆と独裁と』第2巻1号 [73~81頁])	鍋山貞親		昭和32年1月	
628	社会党の左旋回(『新国策』第5巻3号 [2頁])	鍋山貞親		昭和32年1月25日	
629	いま一度共産主義を考える(『二つの世界』第3巻2号 [40~45頁])	鍋山貞親		昭和32年2月	
630	社会党左旋回の要因(『経営者』第11巻3号 [32~35頁])	鍋山貞親		昭和32年3月	備考 同文2点
631	日共とゼネスト(『日本週報』ダイジェスト版第7集 [30~33頁])	鍋山貞親		昭和32年4月1日	
632	野党と外交 社会党訪中使節団の帰国をみて(『新国策』第5巻13号 [1頁])	鍋山貞親		昭和32年5月5日	備考 同文2点
633	総評の運動方針批判(『経営者』第11巻6号 [52~53頁])	鍋山貞親		昭和32年6月1日	
634	わが国労働運動の現状とその展望(『小冊子(銀行懇話会発行)』与論資料第47号 [29頁])	鍋山貞親		昭和32年7月	
635	労組はどこへ行く(『経済展望』第29巻7号 [32~37頁])	鍋山貞親		昭和32年7月	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
636	老朽の戦前派没落時代来る！野坂退陣と宮本の第一書記(『日本週報』第412号 [56～59頁])	鍋山貞親		昭和32年7月15日	
637	岸外交の路線(『海外事情』第5巻8号 [2～6頁])	鍋山貞親		昭和32年8月	
638	社会思想(『第一回オルグ講座速記録(東洋紡績労働組合教育情報部刊)』 [39～64頁])	鍋山貞親		昭和32年9月	
639	悲劇の男・神山茂夫—危ぶまれる党大会の開催—(『日本週報』第420号 [43～49頁])	鍋山貞親		昭和32年9月25日	
640	座談会 岸首相の官僚主義を批判する(『新国策』第5巻28号 [3～8頁])	矢部貞治、鍋山貞親、高山岩男、矢次一夫		昭和32年10月	
641	総評分裂の危機(『動向』第4巻10号 [20～25頁])	鍋山貞親		昭和32年10月	
642	第6講 共産主義批判(『労働講座シリーズ(日産自動車株式会社経営協議会事務局)』第3回 [97～117頁])	鍋山貞親		〔昭和32年11月30日〕	
643	容共化した日本社会党(『小冊子(政治総合研究所発行)』第30集 [17頁])			昭和32年	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
644	浜松争議に憲兵隊 出動—日本楽器争 議(大正15年4月) —(『サラリーマ ン』新春特大号 [43~49頁])	鍋山貞親		昭和33年1月1 日	
645	“仮象的強さ”の限 界(『国と政治』 第6巻3号(65号) [60~64頁])	鍋山貞親		昭和33年3月1 日	
646	春季闘争の背景と その狙い(『講 演』第830号 [1 ~18頁])	鍋山貞親		昭和33年5月1 日	
647	総選挙の示したも の(『自警』第40 巻7号 [14~18 頁])	鍋山貞親		昭和33年7月1 日	
648	総評の新運動方針 を批判する(『自 由民主党 放送シ リーズ』第4集 [29~33頁])	鍋山貞親		昭和33年8月	
649	老亡命客曹汝霖先 生(『新国策』第 6巻26号 [24 頁])	鍋山貞親		昭和33年9月	
650	党章の論争点 (『経営者』第12 巻9号 [8~10 頁])	鍋山貞親		昭和33年9月	
651	曾遊の地・金門島 (『海外事情』第 6巻10号 [2~5 頁])	鍋山貞親		昭和33年10月	
652	日共の労組対策— 第7回大会を主に —(『官公労働』 第12巻10号 [26 ~29頁])	鍋山貞親		昭和33年10月 15日	
653	警職法改正問題の 焦点(『民族と政 治』第41号 [46 ~47頁])	鍋山貞親		昭和33年11月 1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
654	中正とは(『中正』第1巻3号 [18~23頁])	鍋山貞親		昭和33年12月1日	
655	議会政治は果して危機か—風潮にかき消された社会党の責任—(『経済往来』第10巻12号 [75~77頁])	鍋山貞親		昭和33年12月1日	
656	矢次特使の土下座はデマ—複雑な日韓交渉への反省—(『日本週報』第468号 [34~41頁])	対談<答える人>鍋山貞親		昭和33年12月25日	
657	最近の内外情勢の思想(『あさあけ』第14巻1号 [32~43頁])	鍋山貞親		昭和34年1月	
658	わが国政治の危機(『石田博英鹿角後援会報』[1頁])	鍋山貞親		昭和34年1月1日	
659	最近の内外情勢の思想(『あさあけ』第14巻2号 [20~33頁])	鍋山貞親		昭和34年2月1日	
660	晩成の酒好き(『話の広場』第4巻2号)	鍋山貞親		昭和34年2月1日	
661	社会党と西尾末広(『政治経済』第6巻3号 [18~31頁])	鍋山貞親		昭和34年3月1日	
662	左翼陣営の日本中立化論(『国防』第7巻6号 [84~92頁])	鍋山貞親		昭和34年3月1日	
663	国際認識と民族の魂(『自警』第41巻3号 [4~7頁])	鍋山貞親		昭和34年3月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
664	国際認識と民族の魂(『あさあけ』第14巻4号 [14～17頁])	鍋山貞親		昭和34年4月1日	
665	社会党各派の構想を分析する—解説討論—(『社会党再建論争=解説と資料=』 [8～33頁])	和田耕作・唐島基智三・鍋山貞親・矢部貞治 他		昭和34年7月1日	備考 社通叢書3
666	改造台風が残して行ったもの—苦しみながら保守党は前進する—(座談会)(『民族と政治』第49号 [28～49頁])	鍋山貞親、矢次一夫、大久保武雄、田中竜夫、中谷武世(司会)		昭和34年7月1日	
667	座談会・社会党を解剖する(いわゆる“下呂談話”をめぐって)(『新国策』第7巻19号 [3～9頁])	秋定鶴三・鍋山貞親・矢次一夫		昭和34年7月5日	
668	分裂危機の社会党(『小冊子(政治総合研究所発行)』第41集 [16頁])			昭和34年7月6日	
669	今週の問題—座談会—(『東洋経済』第2900号 [16～23頁])	A・F・H 他 計12名		昭和34年8月1日	
670	安保改定をめぐる対立(『海外事情』第7巻10号 [15～20頁])	鍋山貞親		昭和34年10月5日	
671	座談会・西尾新党の全貌(『日本週報』第496号 [4～19頁])	御手洗辰雄・鍋山貞親		昭和34年10月15日	
672	社会党大会の経過と内部事情(『日化協月報』第12巻10号 [11～15頁])	鍋山貞親		昭和34年10月20日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
673	『政経不可分論』と石橋湛山一日中貿易をめぐる日本の政治と経済— (『経済春秋』第11巻11号 [9~19頁])	高橋亀吉・鍋山貞親・細川隆元		昭和34年11月1日	
674	組合に浸透する共産党勢力(『経営者』 [10~12頁])	鍋山貞親		昭和34年11月	
675	今年の内外課題を顧みて(『自警』第41巻12号 [2~5頁])	鍋山貞親		昭和34年12月1日	
676	全学連総評デモ隊の国会乱入事件について—座談会— (『民族と政治』第55号 [58~70頁])	福永健司・西村栄一・矢次一夫・鍋山貞親・永田正義		昭和35年1月1日	
677	座談会・新春時局放談(『経済時代』第25巻1号 [40~48頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親他		昭和35年1月1日	
678	今年の内外之課題 (『芙蓉』第15巻1号 [28~33頁])	鍋山貞親		昭和35年1月10日	
679	異変の年(『葦』第2号 [3頁])	鍋山貞親		昭和35年1月	
680	座談会・発足した民主社会党を解剖する(『新国策』第8巻4号 [3~11頁])	鍋山貞親・西村栄一・矢次一夫		昭和35年2月5日	
681	政界放談・最近の政局を語る(『新国策』第8巻8号 [3~13頁])	細川隆元・鍋山貞親・矢次一夫		昭和35年3月15日	
682	中共を忘れよ (『東方』第8号 [2頁])	鍋山貞親		昭和35年4月16日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
683	座談会・三大政治評論家の時局放談(『経済時代』第25巻5号[16~23頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親		昭和35年5月1日	
684	履きちがえられた野党性を衝く(『政界往来』第26巻5号[66~71頁])	鍋山貞親		昭和35年5月10日	
685	局外者の直言(『月刊保険評論臨時増刊号』第12巻8号[13~15頁])	鍋山貞親		昭和35年6月20日	
686	座談会・崩壊の危機に瀕した日本の民主主義(『経済時代』第25巻7号[22~29頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親		昭和35年7月1日	
687	座談会・池田新内閣の性格と前途を論ず(『新国策』第8巻21号(251号)[3~13頁])	稲葉秀三・鍋山貞親・矢次一夫		昭和35年7月25日	
688	危機の教訓(『自警』第42巻8号[6~9頁])	鍋山貞親		昭和35年8月1日	
689	今日的共産主義の教訓 チボル・メライ 井上勇訳「クレムリンをがたつかせた十三日間」(『時事出版通信』第57号[全8頁])	鍋山貞親		昭和35年9月20日	
690	文相の信念(『月刊ひろば』第5巻11号[6~7頁])	鍋山貞親		昭和35年11月1日	
691	愚かな職場闘争(『経営者』第14巻11号[34~35頁])	鍋山貞親		昭和35年11月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
692	新聞の責任(『日本の外交と議会政治』ニューリーダー―《別冊》[89～106頁])	鍋山貞親		昭和35年11月14日	
693	政界放談・総選挙の結果と今後の政局(『新国策』第8巻33号[3～14頁])	細川隆元・鍋山貞親・御手洗辰雄・矢次一夫		昭和35年11月25日	
694	国際政治の視野から総選挙を反省する―鼎談―(『民族と政治』第66号[28～37頁])	鍋山貞親・矢次一夫・中谷武世		昭和35年12月1日	
695	近事偶感(『中央業研―創立15周年―』[46～48頁])	鍋山貞親		昭和35年	
696	座談会・新春時局放談(『経済時代』第26巻12号[38～45頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親		昭和36年1月1日	
697	座談会・警察官再認識論の登場(『警察文化』第13巻2号[22～36頁])	鍋山貞親		昭和36年2月5日	
698	乱暴な外交官(『警察文化』第13巻3号[76～77頁])	鍋山貞親		昭和36年3月5日	
699	最近のアメリカ情勢(『民族と政治』第71号[49～54頁])	鍋山貞親		昭和36年5月1日	
700	座談会・時局放談(『経済時代』第26巻5号[14～20頁])	唐島基智三・小汀利得・鍋山貞親		昭和36年5月1日	
701	政局の現状と日米の比較(『自警』第43巻6号[8～11頁])	鍋山貞親		昭和36年6月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
702	外国での小さな経験(『警察時報』第16巻7号 [31～32頁])	鍋山貞親		昭和36年7月1日	
703	特集座談会・ソ連共産党新綱領草案を裸にする(『進路』第8巻9号 [50～68頁])	下村治・鍋山貞親・原子林二郎・米津三郎(司会)		昭和36年9月1日	
704	座談会・国際危機下の日本の立場(『経済時代』第26巻9号 [22～28頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親		昭和36年9月1日	
705	だらしなない受け入れ方(『同朋』第12巻10号 [37～38頁])	鍋山貞親		昭和36年11月20日	
706	座談会・新春政局放談(『経済時代』第27巻1号 [72～78頁])	細川隆元・唐島基智三・鍋山貞親		昭和37年1月1日	
707	西尾末広氏のこと(『世界と議会』第8号 [33～34頁])	鍋山貞親		昭和37年1月15日	
708	民主主義と社会主義(『小冊子(日本通運中央業務研究所発行)』資料2 [45頁])	鍋山貞親		昭和37年2月28日	
709	座談会・政局放談(『経済時代』第27巻4号 [14～21頁])	細川隆元・鍋山貞親・渡辺三樹男		昭和37年4月1日	
710	台湾の運命は日本の運命である(『はなしのひろば』第7巻第5号 [10～13頁])	鍋山貞親		昭和37年5月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
711	アンケート／参議院選挙に思う (『民主社会主義研究』第27号 [23～24頁])	鍋山貞親		昭和37年6月1日	
712	水野成夫論に触発されて(『論争』第19号 [215～221頁])	鍋山貞親		昭和37年11月1日	
713	青年と労働余暇問題(『世界と日本』第3巻11号 [18～21頁])	鍋山貞親		昭和38年1月1日	
714	中ソ対立の現状と展望(『警察文化』第15巻4号 [20～26頁])	鍋山貞親		昭和38年3月	
715	社会思想とその運動(『朋林』第2巻3号 [2～29頁])	鍋山貞親		昭和38年3月1日	
716	中ソ対立と日共(『官公労働』第17巻3号 [11～13頁])	鍋山貞親		昭和38年3月15日	
717	総選挙の結果と政局(『自警』第35巻6号 [22～26頁])	鍋山貞親		昭和38年6月1日	
718	人間疎外の旅(『同朋』第14巻8号(通巻151号) [24～25頁])	鍋山貞親		昭和38年8月20日	
719	中ソ対立に思う(『青淵』第174号 [5～6頁])	鍋山貞親		昭和38年9月1日	
720	一個不尋常的座談会(『真報(香港)』 [3面])	鍋山貞親・水野勝太郎・陳樹渠 他		昭和38年10月15日	備考 本文は中国語

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
721	中ソの対立と日本の左翼(『世界の焦点』普及会資料35〔85〕～105頁)	鍋山貞親		昭和38年10月25日	
722	中ソ決裂と日本の左翼(『経営者』第17巻11号〔58～60頁〕)	鍋山貞親		昭和38年11月1日	
723	中共代表団員亡命の波紋(『世界の焦点』普及会資料36〔67～85頁〕)	鍋山貞親		昭和38年11月25日	
724	泰平ムードの毒害(『自警』第45巻12号〔2～6頁〕)	鍋山貞親		昭和38年12月1日	
725	日本政党政治の展望(『新経済』〔14～21頁〕)	鍋山貞親		昭和39年1月1日	
726	周事件の意外な波紋(『世界の焦点』普及会資料39〔23～40頁〕)	鍋山貞親		昭和39年2月25日	備考 同文2点
727	社会党の宿命的悩み(『世界と議会』第34号〔21～24頁〕)	鍋山貞親		昭和39年3月15日	
728	日華関係はどうなる(『世界の焦点』普及会資料41〔5～23頁〕)	鍋山貞親		昭和39年4月25日	
729	30分放談会 少年問題を語る(『国民と警察』第34号〔1～5頁〕)	徳川夢声(司会)・矢次一夫・鍋山貞親・阿部真之助・渡辺はま子		昭和39年4月25日	
730	座談会 ILO日中韓貿易収支懸案解決に迫られた池田内閣(『経済時代』第29巻4号〔6～15頁〕)	藤原弘達・鍋山貞親・名島太郎・志賀(副社長)		昭和39年4月25日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
731	短い酒歴(『メジカルモチダ』第47号 [11~12頁])	鍋山貞親		昭和39年5月1日	
732	台湾をどうみるか(『評論』第30号 [1~4頁])	鍋山貞親		昭和39年5月5日	備考 同文2点
733	その後の日華問題(『世界の焦点』普及会資料43 [3~25頁])	鍋山貞親		昭和39年6月25日	
734	池田じゃもういけない三選なんてとんでもない(座談会)(『民族と政治』第109号 [50~72頁])	岩淵辰雄・大宅壮一・木内信胤・鍋山貞親他		昭和39年7月1日	
735	中ソ対立と日共の亀裂(『官公労働』第18巻7号 [11~13頁])	鍋山貞親		昭和39年7月15日	
736	日共は幼稚である—志賀除名問題への随感—(『政界往来』第30巻9号 [122~123頁])	鍋山貞親		昭和39年9月10日	
737	中ソ対立と社・共両党(『世界と日本』第4巻10号 [5~9頁])	鍋山貞親		昭和39年10月1日	
738	国際的発言権強化の実を示せ(『経済時代』第29巻12号 [10~12頁])	鍋山貞親		昭和39年12月	
739	社共両党の政権構想(『福井と政治』第10号 [5~7頁])	鍋山貞親		[昭和40年1月]	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
740	“物言わねば腹ふくる”のたとえ(『月刊ひろば』第10巻3号 [6～11頁])	鍋山貞親		昭和40年3月1日	備考 同文2点
741	佐藤内閣と中共(『世界の焦点』普及会資料52 [5～24頁])	鍋山貞親		昭和40年3月15日	備考 同文2種
742	慌ててはいけない(『国民協会』第127号 [1面])	鍋山貞親		昭和40年4月1日	
743	ベトナムをめぐる内外情勢(『国民と警察』No.48 [1～9頁])	鍋山貞親		昭和40年6月号	
744	台湾・蒋介石(『騒友』第12号 [6～7頁])	鍋山貞親		昭和40年7月15日	
745	世界情勢の多極化と日本(『小冊子(福岡県経営者協会発行)』[全86頁])	鍋山貞親		昭和40年11月	
746	宮城前の武力蜂起(『日本週報』第590号 [46～50頁])	鍋山貞親		昭和40年12月1日	
747	新たな決意の民社党(『世界と議会』第56号 [19～23頁])	鍋山貞親		昭和41年1月	
748	犬と囚人(『政界往来』第32巻1号 [146～148頁])	鍋山貞親		昭和41年1月1日	
749	共産主義勢力の現状(『鶴鳴』第3巻1号(15号) [27～42頁])	鍋山貞親		昭和41年1月15日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
750	共産主義と民族独立の悲劇(『自由政治』第25号 [18~21頁])	鍋山貞親		昭和41年4月1日	
751	国防関心の高揚(『世界と日本』第6巻4号 [18~22頁])	鍋山貞親		昭和41年5月	
752	ソ連の対中共反撃(『自由政治』第26号 [20~23頁])	鍋山貞親		昭和41年5月1日	
753	日本の安全と独立(『図書(労働文化研究所発行)』[全88頁])	鍋山貞親		昭和41年5月15日	
754	日本共産党現況(『情報知識(台北)』第3巻1号 [39~40頁])	鍋山貞親(作)・砦君(訳)		昭和41年7月1日	備考 本文は中国語
755	中共に見切りをつける日共の「自主独立」宣言(『世界週報』第47巻34号 [26~28頁])	鍋山貞親		昭和41年8月23日	
756	総評の性格と課題(『週刊時事』第8巻35号 [35~37頁])	鍋山貞親		昭和41年9月3日	
757	政治座談会 日本は共産主義国家にどう対処すべきか(『佼成』第17巻10号 [50~57頁])	唐島基智三・鍋山貞親・庭野日敬・和田耕作(司会)		昭和41年10月	
758	自主独立を宣言した日共(『国民と警察』第64号 [1~6頁])	鍋山貞親		昭和41年10月25日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
759	佐藤総理に課せられた政治使命 (『経済時代』第31巻12号 [19~23頁])	鍋山貞親		昭和41年12月1日	
760	進歩的文化人は幻影だ(『20世紀』第1巻8号 [162~171頁])	鍋山貞親・邱永漢		昭和41年12月1日	
761	分裂する左翼団体日共と中共の離反をめぐって(『週刊時事』第8巻50号 [56~61頁])	鍋山貞親		昭和41年12月17日	
762	『週刊時事』第8巻50号(全冊) (『週刊時事』第8巻50号 [全82頁])			昭和41年12月17日	備考 鍋山貞親「分裂する左翼団体—日共と中共の離反をめぐって—」を収録
763	紀元節復活のこの年(『帝都日日新聞』復刊第6818号 [2面])	鍋山貞親		昭和42年1月1日	
764	随感 西独の政変について(『評論』第61号 [2頁])	鍋山貞親		昭和42年1月5日	
765	潜在的内乱に発展?—“天下大乱”をめぐって(上)—座談会 (『時事通信時事解説版』第6362号 [2~7頁])	桑原寿二・鍋山貞親・原子林二郎・久住忠男		昭和42年1月14日	
766	東北地区に中ソの大軍—座談会“天下大乱”をめぐって<下>—(『時事通信時事解説版』第6363号 [7~12頁])	桑原寿二・鍋山貞親・原子林二郎・久住忠男		昭和42年1月16日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
767	共産主義と革命の実体を衝く！昭和41年定期総会並に「社会党に対する公開状」協議会における鍋山貞親先生の講話(『小冊子(国際開発協力会版)』[全87頁])			昭和42年2月20日	
768	ガンは非行少年(『財界』3月1日号[84~85頁])	鍋山貞親		昭和42年3月1日	
769	統一地方選挙を迎えて(『速報先見経済』第1163号[2~3頁])	鍋山貞親		昭和42年3月25日	
770	解説・美濃部都政の方向④二年間はムード造り?(『時事通信時事解説版』第6448号[2~10頁])	鍋山貞親・矢部貞治・高山岩男・篠田寛		昭和42年4月27日	
771	中共の文化大革命と日本(『青淵』第218号[30~40頁])	鍋山貞親		昭和42年5月1日	
772	イデオロギー無用論(『月刊ひろば』第12巻5号[6~11頁])	鍋山貞親		昭和42年5月1日	
773	イデオロギーの政党政治は過去の遺物(『経済時代』第32巻4号[18~20頁])	鍋山貞親		昭和42年5月1日	
774	ベトナム戦争と日本—混迷する内外の情勢と困難を増す警察の任務—(『国民と警察』第71号[1~7頁])	鍋山貞親		昭和42年5月25日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
775	混乱招く政策は厳に自戒せよ(『経済時代』第32巻5号 [20~21頁])	鍋山貞親		昭和42年6月1日	
776	表面化した社・共のミゾ(『日経連タイムス』第955号 [2面])	鍋山貞親		昭和42年6月1日	
777	これからの民社党(『日経連タイムス』第958号 [1面])	鍋山貞親		昭和42年6月1日	
778	西村民社党委員長の課題(『経済時代』第32巻7号(401号) [21~23頁])	鍋山貞親		昭和42年8月1日	
779	与野党ともに無責任—徹夜・ダラダラ国会を叱る—(『時事通信時事解説版』第6533号 [2~6頁])	長谷川才次・御手洗辰雄・池田潔・鍋山貞親		昭和42年8月8日	
780	社会党大会に思う(『日経連タイムス』第967号 [1面])	鍋山貞親		昭和42年8月24日	
781	対談・倉石発言後の国会と今後の政局(『経済時代』第33巻4号(409号) [32~39頁])	鍋山貞親・小宮山千秋		昭和43年4月1日	
782	春闘とメーデー：労組側に戦勝気分(『夕刊新聞』第7971号 [1面])	鍋山貞親		昭和43年5月5日	
783	国際共産主義の現状(『国民協会』第235号 [1面])	鍋山貞親		昭和43年5月1日	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
784	国民の錯覚を煽る社・共産党の攻勢(『月刊ひろば』第13巻7号[6～11頁])	鍋山貞親		昭和43年7月1日	
785	『中国與日本』第142期(全冊)(『『中国與日本』』第142期[全51頁])			昭和47年(中華民国61年)8月1日	
786	民主連合政府綱領についての日本共産党の提案(『小冊子(日本共産党中央委員会出版局発行)』[全32頁])			昭和49年3月1日	
787	1977年の回顧と78年の展望(上)(『主張と解説』第28巻2号(通巻644号)[1～32頁])	鍋山貞親・高山岩男 他2名		昭和53年1月15日	
788	病床片々(『主張と解説』第29巻1号(通巻667号)[1～6頁])	鍋山貞親		昭和54年1月1日	
789	唯物史観批判(上)(『共産主義－研究と批判－』第35号[53～63頁])	佐野学		昭和57年6月1日	
790	共産主義－研究と批判－12・1合併号(第52号)(全冊)(『共産主義－研究と批判－』12・1合併号(第52号)(佐野学没後30年特集号[全92頁])			昭和59年1月1日	備考 鍋山歌子「佐野さんの思い出」を収録
791	政局の現状と日米の非核(『秋田警察』第16巻6号[20～25頁])	鍋山貞親		6月	

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
792	第三回労働講座シリーズ 共産主義批判(『労働講座シリーズ(日産自動車株式会社経営協議会事務局)』[99~107頁])	鍋山貞親		9月30日	備考 同文2冊
793	失はれざる信念—鍋山貞親先生口演—(『小冊子(大阪警察管区本部発行)』[全39頁])	鍋山貞親			備考 2月9日大阪で開催の講演記録
794	潮流—庶民の声と保守・革新—(『電力新報』巻号不明[62~63頁])	鍋山貞親			
795	私の息抜法(『PHP』No.127)	鍋山貞親			
796	ふるさと(巻号不明[28~29頁])	鍋山貞親			
797	評論・総同盟分裂の危機(『SHIGA労働』第37号)	鍋山貞親			
798	ソ連修正案の内容(新聞記事切抜)				備考 講和条約関係記事
799	国民運動の課題—日韓問題をめぐる反省と教訓—(『小冊子(日韓友好条約批准促進国民会議発行)』[全36頁])	御手洗辰雄、鍋山貞親、中村菊男			備考 同文3冊
800	労相石田氏のあれこれ(『時の人』[60~61頁])	鍋山貞親			
801	アジア社会党会議と日本の両派社会党—大いに対立せよ(『東洋経済新報 別冊 嵐の前の日本第13号』[124~127頁])	鍋山貞親			

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
802	日本共産党関係新聞記事切抜([99枚])				
803	雑誌記事本文抜刷(24種)				
804	行動要領(新聞記事切抜1枚)				
2 スクラップブック【資料番号805～817】					
805	Scrap Book No. 2([なし])	鍋山貞親		昭和25年1月20日～1月30日	備考 鋸止め製本
806	〔スクラップブック〕 No.1([1～81頁])	鍋山貞親		昭和32年1月1日～34年4月11日	備考 バインダー
807	〔スクラップブック〕 No.2([82～161頁])	鍋山貞親		昭和34年4月21日～35年9月11日	備考 バインダー
808	〔スクラップブック〕 No.3([162～240頁])	鍋山貞親		昭和35年9月21日～37年2月11日	備考 バインダー
809	〔スクラップブック〕 No.4([241～320頁])	鍋山貞親		昭和37年2月11日～38年3月21日	備考 バインダー
810	〔スクラップブック〕 No.5([321～401頁])	鍋山貞親		昭和38年4月1日～39年3月21日	備考 バインダー
811	〔スクラップブック〕 No.6([405～179頁])	鍋山貞親		昭和39年4月11日～40年3月15日	備考 バインダー
812	〔スクラップブック〕 No.7([480～560頁])	鍋山貞親		昭和40年4月11日～41年4月5日	備考 バインダー
813	〔スクラップブック〕 No.8([561～639頁])	鍋山貞親		昭和41年4月15日～42年5月8日	備考 バインダー
814	〔スクラップブック〕 No.9([640～721頁])	鍋山貞親		昭和42年5月18日～43年6月18日	備考 バインダー

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
815	〔スクラップブック〕 No.10(〔722～801頁〕)	鍋山貞親		昭和43年6月28日～44年7月28日	備考 バインダー
816	〔スクラップブック〕 No.11(〔802～881頁〕)	鍋山貞親		昭和44年8月8日～45年9月8日	備考 バインダー
817	〔スクラップブック〕 No.12(〔882～961頁〕)	鍋山貞親		昭和45年9月18日～45年10月8日	備考 バインダー
第2次受入分【資料番号1001～1015】					
1001	荒畑寒村書簡 【ほか一括】				
1001-1	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和29年10月29日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 勝三名義 葉書
1001-2	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	〔昭和32年〕1月23日	数量 9枚 記述法 ペン 備考 勝三名義
1001-3	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和34年11月27日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 勝三名義 葉書
1001-4	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	〔昭和34年〕1月21日	数量 7枚 記述法 ペン
1001-5	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	〔昭和35年〕1月22日	数量 6枚 記述法 ペン
1001-6	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	〔昭和35年〕1月22日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 勝三名義
1001-7	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和36年4月20日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 勝三名義 葉書
1001-8	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	〔昭和36年〕7月26日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 巻紙
1001-9	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和36年12月24日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 勝三名義 葉書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1001-10	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	〔昭和36年〕1月30日	数量 6枚 記述法 ペン 備考 勝三名義
1001-11	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和38年1月17日	数量 5枚 記述法 ペン 備考 勝三名義
1001-12	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和38年2月4日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 勝三名義 葉書
1001-13	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親・歌子	昭和41年1月17日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-14	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和41年8月28日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-15	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和41年10月19日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-16	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和45年1月6日	数量 6枚 記述法 ペン
1001-17	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和46年4月21日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-18	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親・歌子	昭和46年4月30日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-19	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和46年8月12日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-20	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和46年12月15日	数量 4枚 記述法 ペン
1001-21	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和47年3月27日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-22	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和48年6月14日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-23	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和48年7月29日	数量 5枚 記述法 ペン

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1001-24	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和49年3月20日	数量 3枚 記述法 ペン
1001-25	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和49年5月9日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1001-26	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山貞親	昭和49年6月15日	数量 3枚 記述法 ペン
1001-27	荒畑寒村書簡	荒畑寒村	鍋山歌子	昭和49年8月5日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1002	荒畑初枝書簡	荒畑初枝	鍋山貞親	昭和45年7月1日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1003	石橋湛山書簡	石橋湛山	鍋山貞親	昭和27年11月13日	数量 1枚 記述法 活版 備考 巻紙
1004	大野信三書簡 【ほか一括】				
1004-1	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	〔昭和22～23年〕	数量 2枚 記述法 ペン
1004-2	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	昭和31年6月13日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1004-3	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	昭和31年6月18日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1004-4	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	昭和31年7月23日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1004-5	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	昭和48年6月20日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1004-6	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親	昭和49年5月11日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1004-7	大野信三書簡	大野信三	鍋山貞親		数量 2枚 記述法 ペン 備考 占領期作成

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1005	風間丈吉書簡 【ほか一括】				
1005-1	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和22年7月4日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1005-2	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山歌子	昭和24年5月23日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1005-3	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和24年5月26日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1005-4	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	〔昭和24年〕6月13日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1005-5	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和24年10月29日	数量 3枚 記述法 ペン
1005-6	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	6月26日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 占領期作成 検閲済
1005-7	風間丈吉書簡	風間丈吉	鍋山貞親	昭和43年2月9日	数量 5枚 記述法 ペン
1006	河上丈太郎書簡	河上丈太郎	鍋山貞親	昭和28年8月13日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1007	神近市子書簡 【ほか一括】				
1007-1	神近市子書簡	神近市子	鍋山歌子	〔昭和23年〕10月24日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1007-2	神近市子書簡	神近市子	鍋山歌子	昭和24年11月11日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1007-3	神近市子書簡	神近市子	鍋山歌子	昭和24年12月12日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1007-4	神近市子書簡	神近市子	鍋山歌子	昭和27年9月10日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1008	佐野学書簡【ほか一括】				
1008-1	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	〔昭和25年〕2月23日	数量 1枚 記述法 墨書
1008-2	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	1月1日	数量 2枚 記述法 墨書
1008-3	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	5月7日	数量 6枚 記述法 墨書
1008-4	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	5月12日	数量 4枚 記述法 ペン
1008-5	佐野学書簡	佐野学	鍋山貞親	8月27日	数量 3枚 記述法 墨書
1009	西尾末広書簡【ほか一括】				
1009-1	西尾末広書簡	西尾末広	鍋山貞親	昭和28年9月	数量 1枚 記述法 活版
1009-2	西尾末広書簡	西尾末広	鍋山貞親	昭和36年10月14日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 ベルリンより 葉書
1009-3	西尾末広書簡	西尾末広	鍋山貞親	6月12日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 占領期作成
1010	細川隆元書簡	細川隆元	鍋山貞親	昭和32年5月9日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1011	御手洗辰雄書簡【ほか一括】				
1011-1	御手洗辰雄書簡	御手洗辰雄	鍋山貞親	昭和36年5月18日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1011-2	御手洗辰雄書簡	御手洗辰雄	鍋山貞親	6月3日	数量 2枚 記述法 ペン
1011-3	御手洗辰雄書簡	御手洗辰雄	鍋山貞親	7月5日	数量 1枚 記述法 ペン
1012	矢部貞治書簡	矢部貞治	鍋山貞親	4月20日	数量 1枚 記述法 ペン

鍋山貞親関係文書目録

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
1013	芳村書簡	芳村	鍋山貞親	昭和28年7月31日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 葉書
1014	渡辺邦男書簡 【ほか一括】				
1014-1	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親	昭和30年11月7日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1014-2	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親	昭和31年1月27日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1014-3	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親	昭和39年7月31日	数量 2枚 記述法 ペン 備考 シナリオ作家協会用紙
1014-4	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親	昭和45年5月6日	数量 1枚 記述法 ペン 備考 葉書
1014-5	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親	昭和47年7月2日	数量 1枚 記述法 ペン
1014-6	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親		数量 1枚 記述法 ペン 備考 東宝便箋
1014-7	渡辺邦男書簡	渡辺邦男	鍋山貞親		数量 4枚 記述法 ペン 備考 東映京都撮影所用紙
1015	〔経済安定・増産復興の条件〕	鍋山貞親		〔昭和22～23年〕	数量 3枚 記述法 ペン
第3次受入分【資料番号2001～2006】					
2001	摘録	鍋山貞親		昭和9年	数量 1冊 記述法 ペン
2002	〔草稿集〕	〔鍋山貞親〕		〔昭和〕	数量 1冊 内容 「戦争と囚人」「不惑の焦慮」などと題する文章 記述法 ペン
2003	〔日記〕	〔鍋山貞親〕		昭和15年12月4日～昭和16年2月14日	数量 1冊 記述法 ペン

鍋山貞親関係文書目録

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等
2004	〔日記〕	〔鍋山貞親〕		昭和16年2月15日～3月21日	数量 1冊 附属資料 手書きメモ8枚 記述法 ペン 備考 表紙裏に手書きメモの挟み込み
2005	〔日記〕	〔鍋山貞親〕		昭和17年1月1日～12月31日	数量 1冊 記述法 ペン
2006	鍋山貞親蔵書				数量 2冊 内容 蔵書の目録 記述法 電子式複写 備考 「警察大学寄贈」と記された封筒の中にあり。